京城日報
五月三日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

# 獨軍敗衂
## 敵軍ケメル丘占領未だし

四月二十九日獨軍は夜間に至る迄終日に亙りケメル西方なる丘陵の奪取を試むるや又復慘澹たる敗衂を見たり彼等は密集隊を爲して進撃し來りたるも英佛軍の小銃隊及び機關砲の爲めに屠られ了れり敵軍は十五箇師團を用ひたるが英軍の線に對しては何等の影響を與ふる事無く唯佛軍の線を聊か後方に押戻したるに過ぎず而も斯の如き少收穫すら佛軍の逆襲に依りて奪還されたり敵軍は未だケメル丘の占領を了する能はず同丘は絶えず英佛軍より砲火を浴せられ居れり（倫敦電報）

# 獨軍必死的攻撃
## 目標はイープル＝戰鬪結果尚不明

獨軍は猛烈なる砲撃を行ひたる後フランダースに於ける聯合軍に對し激烈なる攻撃を開始しイープル、シエルベンベルク高地及びバイーゼブルク方面ボイユー西方にて十五哩の正面に亘り攻撃を行ひつゝあり尚獨軍はイーゼル河畔にてもベルギー軍を襲撃せるが彼等直接の目標はイープルにあり戰鬪の結果は未だ不明なり（倫敦電報）

# 獨逸戰時公債狀况
## 獨逸通信經濟力の根柢鞏固を揚言す

四月十八日締切となつた獨逸第八回戰時公債應募高は二十日迄の計算に依れば百四十五億五千萬馬克に上り未曾有の好成績を示せり獨逸通信は之れ畢竟赫々たる獨逸武勳の然らしむる所なるが同時に獨逸の經濟力は根柢鞏固にして戰役如何に延長するも到底弱めらるゝものに非ずと揚言し居れり尚獨逸は戰時公債利子支拂の目的を以て本年度の戰時增税案を議會に提出せるが其總額二十八億七千五百萬馬克税目は酒印紙郵便電信料等十種に及べり（瑞西電報）

# 普魯西選擧法改正

アムステルダム來電＝普魯西に於る貴族黨が選擧法改正案に反對し皇帝及び宰相ヘルトリング男に迫り曩に皇帝が一般人民に對して爲せる同法改正の約束を取消す可しと主張しつゝある爲め同國政界の危機を惹起せり普魯西下院は一日同改正案を附議する筈なるが若し同案にして否決されんか下院の解散は避け難かる可し（倫敦電報）

# 浦鹽の勞働祭

五月一日勞働祭擧行され二萬の勞働者赤旗を樹て、市中を練り歩きたるが赤旗は何れも勞農政府讃美の文句を以て充されたり夜はイルミネーション及び各種會合等催ほさる（浦鹽電報）

# 南方派意嚮偵察

南北妥協開始の前提として段總理は南方派の意嚮偵察の爲め代表者を南下せしめたり（北京特電）

## ホ將軍歸任

曩て北京に赴きたる東淸鐵道長官ホルワット將軍は二日午後七時十分京奉線にて奉天著同十時半北行列車にて哈爾賓に向へり（奉天特電）

## 外交調査會（開會）

三日外交調査會開會されしが病氣靜養中の寺内首相も病を押して出席せり（東京電報）

## 勝田藏相歸東

滯阪中の勝田藏相は三日朝歸東せり（大阪電報）

## 日露聯絡急行列車廢止
### 鮮滿急行も廢止か

滿鐵にては西伯利鐵道輸送の現狀に鑑み日露聯絡急行列車を廢止すると共に多分鮮滿急行をも廢止するに至るべしと（大連特電）

## 支那記者團通過

支那記者團一行は三日朝内地より著釜支那領事各新聞記者等の出迎を受け鐵道ホテルに休憩し午前十時半發北行せり（釜山特電）

## 福岡師範觀察團

福岡師範學校教員生徒一行七十三名は學事視察の爲め三日朝著釜釜山各學校を視察し午後二時より東萊溫泉に赴き夕刻歸釜難波旅館に一泊し四日午前十時半發列車にて京城に向ふべし（釜山特電）

## 有賀理事著發

有賀三井理事は三日午前六時半著列車にて奉天より來安永原所長原製紙會社事務等の案内にて各方面を視察し直に新義州に向ひ同地製紙會社の工事を視午前十時五十六分發列車にて京城に向ふ（安東特電）

## 總督邸送別會

佛國、白耳義總領事プレボジヤ氏、佛國領事グラン氏は既報の如く共に横濱に轉勤を命ぜられ近く出發赴任に付長谷川總督は八日午後六時半より總督官邸に於て送別會を催すべしと

## 定例長官會議

三日午前九時總督府第二會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督、山縣政務總監臨席各部局長官參集諸般の政務に就きて協議する處ありたり

## 手形回收と郵便局

朝鮮銀行にて拂出したる小額仕拂手形は今回之れを引揚げ政府發行の小額紙幣を撒布する事となりしに付全道各郵便局にては五月五日以後右鮮銀小額手形を受入れたる時は再び之れを支拂ひに使用する事なく總て之れを取纏め其地の鮮銀本支店農銀本支店金融組合に對し政府小額紙幣との引換へ方を請求する事となりたりと

## 朝鮮線滯貨
### 漸減の狀態にあり

滿鐵京城管理局の調査に係る四月三十日午後六時現在滿鐵京管線の滯貨は總計二萬五千二百噸にして出貨減退に伴ひ前週並に前々週に比し若干減少し居れるが尚ほ五箇月越しとなり居る一月中込みの分四千八十六噸を存し居れるを見る滯貨内譯左の如し

▲滯貨内譯

| | 本州行 | 九州行 |
|---|---|---|
| 一月中込のもの | 四、〇八六 | |
| 二月中同 | 六、四三五 | …… |
| 三月中同 | 三、七三四 | 八〇 |
| 四月中同 | 三、七四〇 | 一、〇六六 |
| 計 | 一七、九九五 | 一、一四六 |
| 釜山棧橋滯貨 | 一、八八九 | 一、七九八 |
| 局線内輸送中 | 一、二八九 | 一、〇七三 |
| 合計 | 二一、一七三 | 四、〇一七 |

關釜間及び山陽線の輸送力は從前の通り本州行き鮮滿發四百八十噸釜山發百二十噸にして九州行きは鮮滿發百六十噸釜山發四十噸なり

## 新線路の授受

五月五日より平壤勝湖里間鐵道營業開始の事は既に公表を經たるが該線路は昨年小野田セメント會社にて敷設し居れるものを五日より滿鐵京管局に營業委託をなすものに付三日セメント會社代表者と滿鐵の運輸工務兩代表者との間に線路の授受を終りたりと

## 資金集散豫想

五月中に於ける鮮内の資金集散槪况に就き鮮銀の調査を聞くに收納は國税及び準國税收入十一萬八千九百二十九圓主一銀行外一社の拂込み十五萬八千圓計二十七萬六千九百二十九圓にして散出は朝鮮郵船外二十二社の利益金配當二十萬八千二百八十五圓勸業及農工債券利子四萬〇六百六十二圓にして計二十四萬八千九百四十七圓なりと

## 帽子輸入制限

米國にて本邦製品中多額の輸出額を有する紙製模造『パナマ』帽子は米國輸入制限品目『紙及び紙製品中』に含まれ又經眞田、麥稈製帽子は同國第二回制限品中に含まれ居らざる旨同國田中臨時代理大使より其筋に著電ありと

## 京畿恩賜金豫算

京畿臨時恩賜金大正七年度歳入出豫算を聞くに歳入出合計十五萬九千六十七圓にして其の内譯左の如し

▲歳入部　第一款臨時恩賜金收入十三萬七千三百八十一圓第一項基金利子十三萬七千三百八十一圓、第二款地方費繰戻金一萬二千五百八十六圓第一項地方費繰戻金一萬二千五百八十六圓歳入計十五萬九百六十七圓

▲歳出部　第一款地方費繰入十三萬七千三百八十一圓第一項地方費繰入十三萬七千三百八十一圓第二款基金繰入一萬三千五百八十六圓第一項基金繰入一萬三千五百八十六圓歳出合計[illegible]

## 戸別割徵收狀況（京城）

京城府に於ける大正七年度第一期の戸別割徵收狀況を聞くに法定納期最終日たりし四月三十日現在調定金額四萬八千八百二十七圓に對し一萬四千九百十八圓即ち總額の三割五厘の收入にして之を前年同期の三割七分二厘に比すれば六分七厘の減收なり五年度同期に對比すれば殆んど同率の收入を示せり而して此の比較的不成績を示せるは本年度より該賦課金率の改正及び之が爲め納税告知書發送手續きの遲延せる等の結果に因れるものならんかと推測せらるれど法定納期内に於て調定額の三割內外の收入を算するが如きは他の都市に比較し甚だしき遜色ありと言はざるべからず其の眞因果して奈邊に在るかは知り得ざるも兎に角一般納税者に於ても至急納入せらるゝ樣充分留意ありたしと

## 京城手形交換高（客月）

京城手形交換所に於て取扱ひたる小切手、約束手形、爲替手形其他の交換枚數は合計五萬三千五百二十六枚にして此の金額一千七百十一萬三千百三十四圓四十九錢を算せり而して之を前月に對比すれば手形枚數に於て三千五百餘枚、金高に於て五十八萬三千餘圓の何れも增加を示し更に之を前年同期に比較すれば手形枚數に於て一萬三千八百餘枚、交換金高に於て八百八十六萬九千餘圓の何れも增加にして本年一月よりの累計に就て之を見れば手形枚數十九萬三千六百九十六枚交換金高六千百四十三萬一千四百十九圓七錢を算せり

## 東淸線時刻改正

東淸鐵道線長春、寬城子間に於て旅客列車の旅行券檢査を行ふ爲め本月二十八日より同線列車運轉時刻を改正する旨滿鐵會社に通知ありたり

## 京城小學校起工期

京城學校組合に於て大正七年度に新設すべき龍山葛月里小學校に關しては既記の如くなるが目下右建設に關する調査中にして六月より之れが設計に著手し工事著手は八、九月の交となるべしとのことなるが本年度內に第一期工事十學級を完成し大正八年度より新學期開始の豫定にて該小學校新設費は約八萬六千圓を豫算し總敷地三千九百坪、總建坪約九百坪を算せり而して之を第一期第二期に分割し本年度に於ては第一期工事を完成すべく之れに要する新築及び設備費として五萬八千九百七十二圓を計上せるが本工事に於ては木造二階建校舍約二百坪同平屋建（講堂附屬建物渡り廊下等）約二百七十坪及び運動場均し二千四百五十坪を算せるが其の構造に至つては普通なるも第二期工事完成の曉は京城に於ける小學校に類例なき理科室、音樂室、手工室、圖書兼會議室等を設置すべしと

## 會寧電燈出願

會寧に電燈事業經營の計畫ある事は既報の如くなるが右は愈々機運熟し六萬圓の株式會社を組織して之を經營する事に決し數日前其筋に設立許可を申請する所ありたるが許可あり次第工事に著手する豫定なりと

## 貿易組合進展（大阪）

朝鮮貿易同業組合は從來單に朝鮮のみに對する貿易機關として活動し來りたるが今回滿洲をも包含することゝなり從來の名稱を大阪滿鮮貿易商同業組合と改稱し同時に機關雜誌も大阪滿鮮貿易商報と改題せり

## 福田鈴木兩氏進位

曩に退官となりし遞信局通譯官福田幹次郎遞信事務官補鈴木爾藏の兩氏は特旨により四月七日附正六位に敍位されたり

## 代議士視察團

九日午後九時京城著　衆議院副議長を團長とせる衆議院議員鮮滿視察團一行十二名並に院書記官土岐定臣氏は五月八日下關發九日午前釜山著同日午前十時三十分釜山發同午後九時南大門著入京四日間滯在の上十二日午前九時三十分南大門發仁川に赴き十三日午後歸京一泊翌十四日午前九時三十分南大門發退京平壤に向ふ豫定なるが以後の日程は新義州、奉天、長春、哈爾賓、吉林、撫順、鐵嶺、山海關、天津、北京、青島、濟南、南京、上海、漢口、張家口、大連、大石橋、營口の各地を經て六月十九日午前九時三十分奉天發二十三日午前七時四十八分龍山著入京一泊の上二十四日午前八時四十分南大門發內地還歸の豫定なり一行の氏名左の如し

▲濱田國松（國民黨）▲伊東要藏（政友會）▲[illegible]（政友會）▲大口喜六（國民黨）▲中村啓次郎（憲政會）▲高見之通（政友會）▲松浦五兵衛（政友會）▲山田[illegible]（淸和俱樂部）▲[illegible]（憲政會）▲衆議院書記官土岐定臣

## 床次氏旅程變更（政友）

政友會代議士床次竹二郎氏一行は朝鮮經由支那へ向ふ豫定なりしも都合上上海に先行し六月上旬來鮮の事に變更したり

## 支那記者團通過

朝鮮經由東上したる支那記者團一行は內地視察を終へ別電の如く三日朝釜山著午前十時三十分釜山驛發三日夜九時京城通過奉天に向ふ筈なるが奉天よりは南下して大連に至り同地より旅順を視察し更に奉天を經て來る八日頃北京著の豫定なりと

## 松川中將南巡

松川駐箚軍司令官は岡小野兩參謀竹內千輪兩副官松尾二等主計正を隨へ南鮮部隊檢閲の爲め來る七日午前八時四十分南大門發列車にて南下同日馬山著八日九日の兩日鎭海灣重砲兵大隊京城衞戍病院馬山分院を檢閲し十日馬山より鎭海に向ひ鎭海灣要塞司令部を巡視十一日馬山より東萊に赴き十二日東萊視察十三日東萊發大邱著十四日大邱駐屯部隊を檢閲十六日午後大邱發大田著十七日大田驛部隊檢閲十八日午後五時五分大田發同夜八時五十分龍山驛著列車にて歸任する由

## 持地長官出張

持地遞信局長官は淸津及び元山に於ける郵便局長會議臨席及び所管事項視察の爲め往復三週間の豫定にて三日附出張を命ぜられたり

## 川崎技師歸朝

昨年七月地質調査事業及鑛業視察の爲め北米合衆國、英領加奈陀及び濠洲に出張せる總督府技師川崎繁太郎氏は四日朝南大門著列車にて歸任の筈

## 原田會長東上

朝鮮郵船會社取締役會長原田金之祐氏は三日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上す

## 判任見習口述試驗

五月六日午前八時三十分より京城專修學校に於て總督府にて執行したる判任見習筆記試驗に合格したる七十八名（內鮮人）に對し口述試驗を執行する旨二日受驗者に對し夫々通牒を發せり

●普通校設置認可　全羅北道全州郡守の申請に係る同郡參禮公立普通學校設置並に同道[illegible]郡守申請に係る熊浦公立普通學校設置の件は何れも五月二日附認可の指令ありたり

●松田氏遞信局囑托　客月二十九日依願免官となりし松田臨時土地調査局監査官は本月より遞信局囑托を命ぜられたり

# 大阪財界便り

### ▲倉庫在荷增加（大阪）

大阪商業會議所調査に係る四月十五日現在東神、三菱、住友、松村、四倉庫の在荷は二億二百六十五萬九千圓にして前月に比し七百四十五萬三千圓を增加したるが其最多額にして增加の著しきは綿布類の三千七百八十一萬二千圓綿絲の千七百九十一萬二千圓毛織物の一千九十五萬七千圓を始め印度綿花の二千八百四十八萬圓米綿の千七百五十五萬圓支那綿の八百七十四萬七千圓を主として粗製糖の四百五十二萬圓羊毛の五百五萬圓其增加品は廿種に上れるが一方減少品は鐵材の千八百五萬圓金物製品の六百八萬圓雜金屬の六百六十萬圓染料藥品の四百七十七萬圓洋紙の六百九十七萬圓朝鮮米は百廿七萬九千圓にて以上の諸品は五分乃至三割方減少其他減少品十二種あり

### ▲セル地類好況

セル地は必要期に入りて益活況を呈し本毛十八九圓の高値にあり戰前に比すれば三倍強昨年に比し三割方の昂騰なるが原毛供給不足なりし爲め生産減退し品薄なる爲め機元は殆んど賣盡し居り目先尙好調ならんと

### ▲夏絹織昂騰

夏物の相場は絹織物を標準として一齊に昂上し久留米絣は七八圓を唱へ浴衣地は上物四圓五十錢普通三圓八九十錢を唱ふる勢にて播州縞物さへ上物四圓三十錢中物四圓五十錢普通三圓八九十錢を唱へ又夏物專門の十日町物は幾分製産減少に品薄の爲め問屋側は適品拂底の狀にて市場の氣分緩漸たるを以て米澤物の眞夏物紋紗上布絽羽織等も品薄にて氣配强硬を呈し昨年に比すれば各品一齊に五割以上の奔騰を演じたる爲め織物相場は綿織絹織の値鞘著しく接近し七八圓の久留米絣よりは二三圓高の見榮よき絹織に嗜好を向けられ價格昂騰の割合に織物は商行不振の傾向なきにあらざるも一般奢侈の風は二三圓內外の捺染絣に滿足せざれば季節に入ると共に需要增加を見込み居れり

### ▲夏物相場高低

夏織物は四月を以て一箇年の最盛期とし取引最も旺んなるが生産は春來の手持へのため適品甚だ品薄にて需要に伴はざる狀態なり絹織物は過般來の絹絲低落の影響を受けて五分方の低落を告げたるが上述の如く供給不足の爲め大なる相場の低下を見る事なし綿織物は生絲の昂騰と需要旺盛の爲め一割方の上騰を來し絹紬とも五月以降生産減退すべきに拘はらず需要は依然盛んなるべければ相場の低落は望み難かるべく本年の夏物は順况裡に終了を見るべしと（大阪支局）

# 九州見物（一）
盤溪生

本社主催の九州視察團に加つて四年振りで內地の土を踏んだ記者は見る者聞く者皆懷しく、それに少い頃から馴れて居た九州路に旅した事とて心持はあれもこれもと期待に滿されて居たが扨旅に就いて見ると旅程が豫定に縛られた上に時間に餘裕がないので調べものすら心に委せずまして病氣上りの體には初見の土地に親しむ事は出來ない自然總て旅の慌しい氣分と疲勞に襲はれつゝ船から汽車に、汽車から自動車にと、匆忙の旅をして來た。九州見物記は車窓から眺めた旅の印象を秩序もなく書き綴つたのである

## 勞力缺乏（一）

大里で麥酒會社と製糖會社とを參觀し更らに八幡の製鐵所を見學したが最も印象を深からしめたのは勞働者の群と職工募集の廣告であつた。北九州に於ける工業の發達は勞力の需要を激增せしめたゝめ田舍に燻つて居た二男三男や水吞百姓は浮ぶ瀨もない田舍で肥桶を擔いで居るよりも收入の多い繁華な都に出て働くに越した事はないと言ふので滔々相率ゐて工業地に蝟集する。生産力に制限のある地方では自ら人口の調節が出來勞働者に乏しい工業地では坐らにして勞力が供給される理であるから是程

**○結構な事は** ないが元來地方から集つて來る勞働者は金が欲しくて、美味い者が喰ひたくて立派な市に住んで見たいと言ふ位の考へしかないから專門的の技術を習得しやうとする者も無ければ永住の心もない。罷り違つて喰ふに困れば[illegible]るので濫惰放逸に流れ易い。盆暮の小使に五錢十錢と貯蓄金を貯めて居た若い衆が一躍日給一圓以上

**○二三圓宛も** 貰へるやうになるのだから心の緩むのは無理もないが、此が爲めに麥酒會社や製鐵所では職工の質が粗惡になつて能率が減じ從來三人で行つて居た仕事は四人に見積つて置かぬと手違ひが生ずるやうになつたとかで大分手古摺つて居る。賃金を饑餓點まで引下げて能力を最大限度まで搾り出さねば止まなかつた資本家が職工の

**○我儘勝手を** 押へる事も出來ず膨れ物にでも觸るやうな態度を取つて居る狀を見ると、強者の悲哀を感ぜずには居られないが、此がために勞働者は渡り者となつて大切な勞働時間を徒費して了ふから、資本家は生産力が減じ製品が粗惡になるから結局は共倒れに終る。時局柄豊富な我產業界の受くる打擊は尠くあるまい

## 人の消息

▲有賀長文氏（三井理事）四日朝入京の筈
▲高野省三氏（三井物産支店長）有賀理事と同行四日朝歸京の筈
▲高野五往衛氏（栃木縣會議長）二日夜入京[illegible]城館へ
▲横田[illegible]氏（同議員）同上
▲佐々木慶南道長官　三日朝退京
▲宮木全南道長官　同上
▲上林忠北道長官　同上
▲三浦喜八氏（辯護士）二日忠州より歸京
▲永田光之助氏（鐵道局技師）忠南全北兩道へ出張を命ぜらる（[illegible]）

## 酒前茶後

○獨逸外相キユールマンは聯邦に於て、不品行の事ありとて大分上下よりの攻擊の的となり居るもの、如し。獨逸はキユールマンの身持を攻むるよりも、國民に於ける所謂官選媚が、人道上より以上の罪惡たるを知らざるか。

○意氣衝天のセミヨノフ、各派の軍資調達の際は、先づ預金を交附して、成功後は必ず返すべしと約す。爲に軍威大に揚る。

○彼更らに豪語して曰く、吾人は漸次西部に攻出し、ウラル以東を占領して、東部西伯利國を樹立し、予は進で其主權者たらん。過激派何者ぞ、僅少の金さへ與ふれば、彼等は予が掌中に自由ならんと。其意氣は愛すべきも、未だ天下を夢見るは早し。コルニロフ、カレーヂンに鑑みよ。

○京城に比較的多きは醫師也。醫師の多きは可なるも、患者の奪ひ合ひは危險也。田舍[illegible]には醫師に乏しく、特に女醫なぞは大缺乏にて、看護婦にして、醫師を營む者も多しと。一番遠征を試みる者なきや。

定價　本紙一部金二錢五厘　▲一ケ月金五十錢　▲三ケ月金一圓四十五錢
廣告料金　七號活字一行金[illegible]
發行兼編輯人　奧[illegible]毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
電話番號[illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

列車時間表（十一月一日現行）
[illegible]

漢江の春 ―三日午前[illegible]にて―

# 暴虐惡鬼の如し

## 驚くべき獨逸の英國俘虜虐遇

英國の豚には一滴の水も一片のパンも與へずと怒號する群衆と赤十字の看護婦

### パン屑を拾んとして射殺さる

獨逸の俘虜待遇の極に達した獨逸の俘虜待遇法に關しては今更喋々の要もないが最近發表されし報告書は獨逸の殘虐史に未來永劫拂拭すべからざる一頁を添加するものである右の報告に依れば

◆英兵の俘虜 は今も尚戰時規定の法則に反して砲彈雨下の戰線直背に慘酷を極たる服務を強られてゐる法の規定する所に依ると『捕虜は如何なる狀態にありても戰線卅基米突以内の地に於て勞役に服せしめることが出來ない』と云ふ協約締結後に尚依然として此蠻行は行はれてゐる最近英國に歸還せる一聯兵士官の言を聽くに彼等が經來りたる慘澹たる狀態に關しては慄然として聽くに堪へざるものがある一例を擧ぐればドアイよりハーノバーに到る途中の如き數百の

◆負傷俘虜は 一馬匹列車に投せられ七十二時間に亙つて一片のパンも一滴の水をも與へられず多數兵士は患部の化膿と飢渴とにより呻吟叫喚殆んど生ける地獄の如き慘鼻の狀を呈し落命せるもの前後相次いだといふこともある或は瀕死の傷兵の一隊が五日間に亘つて無掩の野外に放置されたる如き又ある士官の如きは裸體の儘無智の兵卒に引かれ一都市の群衆の觀覽に供せられたとも云ふ或る俘虜列車場に於て

◆俘虜の列車 は短銃とナイフとを所持せる多數勞働者の要ふ所となり負傷者を出し群集も又これに雷同して暴戾至らざるなき罵詈嘲笑を敢てし獨士官の制止を肯かず列車に投石した殊に獨赤十字婦人の如きその非道は言語道斷である或る負傷せる英の一士官が赤十字制服を著する一婦人に一椀の水を乞ひたるに彼の女は直に『英人に與へる水はない』と答へたこれを見たる

◆群衆は一齊に 『豚に與へる水はない』と叫ぶ彼等は兵士も民衆も英國の捕虜を呼ぶに英國の豚と云つてゐる民衆の俘虜を虐遇することも兵士よりも甚だしい或時の如きは餓死に瀕せる一隊の俘虜に給すべく兵士の手に依つて運ばれた一罐の水とスープとは無智の民衆の手に依りて冷酷にも俘虜の面前に於て路傍に撒布せられたこともある殊に赤十字婦人は病俘虜の看護を拒み勞役に服せざる兵士の如きは空腹の苦痛に堪へ得ず哨兵に向つて

◆路傍の草を食ふことを許せと哀願したこともある世帯の珍らしい事でない或一英兵の如きは皮を爭ひて拾ひ食ふが如きと路傍に放棄せられたる麵麭屑を拾はむとして射殺せられた例もある彼等は悉く獸人以下に取扱はれ上著は破れ袴は裂け饑餓と虐待とに依つて死亡するもの數ふるに遑なし

# 勝手なる支那武官

## 吾が法規を無視したる上に却つて誰何者に逆捻を喰はす

一日夜任と稱する支那武官長春の我附屬地を無燈の自轉車にて通過せんとするより警戒の警官誰何せしに橫暴なる態度に出づるより交番に誘ひ其不心得を諭し放還せるに彼は非常に憤慨し道尹公署に到り人權を蹂躙し侮辱を與へたりとて夜中領事館に電話をかけ此始末を奈何に爲し呉るゝと敦圍き居たるが領事館河野書記生の仲裁にて事無くも解決せり我警官が職務を執行せるに何等の落度無きに近日日支親善が食傷して屢々支那官吏の橫暴を見る過日も支那官吏來著に際し其姓名を聞ける警官に對し大官に其名を問ふは無禮なりと道尹は警務署に怒鳴り込める如き橫暴甚し(長春特電)

# 學者優遇の御沙汰

## 帝國學士院會員六十名賜餐

畏き邊りにては帝國學士院會員約六十名を來る十三日正午青葉に薫る霞ケ關離宮に召され賜餐の御沙汰あらせられたり同會員の特に

◆賜餐の光榮 に浴したるは全く今回を以て嚆矢とすると同時に同會員一同の名譽や實に甚大なりといふべし抑も同會員は碩學鴻儒の團體なりと雖も最初同會の設けられたる頃は宮中に於ても政府に於ても別段其の優遇法なかりしが大正元年九月不圖も明治大帝の

◆御大葬儀に 際し時の法制局長官岡野博士の建案に依りて同會員を不文の勅任待遇とし て獨立の位地を設けて奉送せしめたるは同會員待遇の始めともいふべきもの也爾來年一年と同會員は社會に重んぜられ大正三年十二月には政府は勅令を以て同會員を

◆勅任待遇と したり茲に於て同會員は三大節の參賀は申すまでもなく其の他宮中の盛儀には其の都度公然參列の光榮を擔ひつゝありしなり其の他賀物的の優遇としては昨年の暮に政府は同會員一同に鐵道院の特別乘車券を下附し居ること也然れども是き邊の

◆特別の賜餐 の如きは全く先例のなきことなれば當局にても一時躊躇の色ありしなるべ

# 龍山工場職工罷工解決

## 主謀者引致さる

五月一日二日の兩日勤務時間從來の十時間を十一時間に延長されしに拘はらずその增時間に對し增手當なきは不當と稱し同盟罷工的の態度に出でし滿鐵京城管理局龍山工場職工に對しては當局より久保局長並に黑澤工場長も不在に付職工の要求に對しては出來得る限り手落ちなき處置をとるべしと慰撫せし結果三日より全部就業せしが今回不穩の行動を煽動せし疑ひあるものは京管局にても相當の處置をとるべく龍山分隊にても一二の主謀者を引致し目下取調べ中なりと

◆技藝校通俗講演 京城女子技藝學校にては三日午前十時半より木社の龍山淚光氏を聘し通俗講演會を開催せるが歐洲戰亂より說き出し女子の革新を促し最後に『淚の鞭』と云ふ題にて母たる者の責任を說きて滿場淚をしぼらしめ多大の感動を與へたり

けれど穗積新院長の熱誠と波多野宮相の英斷と相俟ちて始めて學者優遇の新例を我が宮中に觀ることを得たるを喜ぶものなり

# 立派な婦人が恥かし相に

## 夜分コッソリ『質札買ひます』の暖簾を潜る

『これも矢張り生活難か』

北米倉町や鍾路あたりをブラ付いて居ると好く『質札買ヒマス』と貼出した古著屋を見受けることがある道らうと云つても手を出す人さへない質札を買つて一體何うするのであらう面白い商賣もあるものだと思つて

◇◆斯道の玄人 に就て訊くと曰く『手前共では大抵質値の一割から一割五分で頂戴して居ります例へば五圓の質札としますと五十錢から七十五錢で買ひ取る譯です中にはモット奮發して呉れなど仰る方も御坐いますが現物を見た上での買値ではなし

◇◆是非共現物を見やうと思へば質屋に行つて一箇月分の利子を拂はねばなりませんので到底之以上に頂戴する譯には參りません斯うして質札を買ひ取ると早速元利揃へて受出しに參ります著物、帶、洋服、指環、時計、眼鏡、家具などがありますが何んと云つても多いのは著物殊に女物で偶には折角受出しながら元値にも賣れぬやうなものもあつて馬鹿を見る事もありますけれど大抵は五掛から六掛上等品になりますと倍にもなる事がありますが斯麼のが本當の掘り出し物とでも云ふのでしよう手前共は最う

◇◆大分長らく 此商賣をやつて居ますが買値は僅か一割か一割五分でも流して了ふよりは増しなので何うしても受出す見込のない人はドシ〳〵持つてお出でになります立派な風采をして恥かし相に夜分コッソリ手前共の暖簾をお潜りになる御婦人も尠くありません矢張り生活難とやらの結果で御座いましよう』

# 大阪相撲新番附

五日發表十一日初日

大阪相撲は五日新番附發表十一日より夏場所開場の筈なり(大阪特電)

# 笑つて絞首臺に

## 上つた不敵の曲者 ―李鎭龍―

### 雲山金鑛事件犯人三名死刑

―死に臨んでは敎誨など無用と空嘯ぶく―

一昨年十月六日平北寧邊郡八院面に於て雲山金鑛運送馬車を襲撃し同金鑛支配人の實弟たる米人及び護衞の任にありし巡査一名を慘殺せし支那人一名英人一名に重傷を負はせ輸送金七萬餘圓を強奪せんとし一時

△世人の耳目 を聳動せしめたる所謂雲山金鑛事件の首謀者黃海道生れ李鎭龍(三)を初め同黃鳳信(二)弟黃鳳雲(二七)三名に對する強盜殺人罪は第一、二審共に服せず上告中の處本年一月十九日京城高等法院に於て死刑の宣告を受けたるが其後被告等は西大門監獄にて死期を待つのみなりしが愈々死刑執行の命に接したる

△平壤監獄に 於ては五月一日午後一時三十分三名の死刑囚を刑場に引出し先づ型の如く關口檢事正、三井檢事、書記等立會の上敎誨師より最後の敎誨ありたるに對し李鎭龍は悠然と構へ笑を浚して曰く『そんな事は今迄耳が鮹になる程聞て居ますそれより早く』と流石は或る陰謀事件に用ひんとして大金を得べく斯る兇行を犯したる丈けの大惡人だけに少しも悪びれたる態度を示さず傲然と構へたる姿は眼前死の神の手に捕はるゝものとも思はれざりき、驪

△死刑の執行 をして下さい』

△故郷に居住 せる長男に對し死後我大恩ある師の廟(忠清道に在り)に詣で父の死を呪文せよと傳へられたしと述べ更に囑して典獄の問に對し李鎭龍は遺言として今更女々しき事を繰り返す欲せざるも

▲黃鳳信黃鳳雲を死刑に處する實に非道なりと叫べり次で黃鳳雲は自分は罪科淺きに死刑を執行さるゝは殘念なりと

# 節句料理

端午の節句には總してきびしくした献立が相当しい

◉鯛潮煮 鯛の塩を一寸五分角に切り鹽をふつて一時間程置き鍋に湯を煮立て前の鯛を潜らせ直ぐに笊に揚げて水をかけ昆布だし五合の中に鯛を入れ煮立ちたる時鹽九分醬油一分酒二勺を注し椀に盛り木の芽を浮ふ

◉蝦鬼殼燒 伊勢蝦を鬼殼を加へた熱湯の中で茹で縱に兩分し置き別に味淋七勺を五勺に煮詰め醬油四勺を注して火より下し

◉酢の物 鯛片身を皮付の儘細く切りそれを鯛の身に小匙二杯かけ鯛の上に掛き前の汁をかけて皿に盛る

◉うま煮 筍を縱に割り茹で亂切りに[illegible]

◉鯛柏蒸し 鯛を三枚におろし大[illegible]鯛の身を並べ鶏卵三個に[illegible]砂糖少量を加へ炒たる餡さし鯛の身にて包み更に柏の葉にて被び蒸籠に入れて數分間蒸す

報み讀を並べ而して午後二時黃鳳雲を先きに續いて李鎭龍、黃鳳信と云ふ順序にて絞首臺に上り何れも十二分乃至十四分にて落命せり(平壤)

◉小堀鞆音氏入京 朝鮮風俗研究の爲め鮮に出張を命せられたる東京美術學校敎授小堀鞆音氏は二日午前太田福藏氏と共に入京約一週間滯在の上慶州扶餘等の古蹟を訪ふ筈

◉時計商組合運動會 京城時計商組合にては四日午前九時より獎忠壇に於て運動會を催ほす筈なるが種々の運動競技及び餘興角力其他賞探等ある由

◉南大門喫茶店休業 南大門停車場内喫茶店は内部修繕の爲二日より一週間休業すべしと

◉佐賀縣鄉友會 五月五日午前九時より獎忠壇に於て同縣人及び同縣故者一同の懇親を圖るため大運動會を開催する由會費一圓當日持參の事

◉能謡を賴つ 東京坂谷縣漁撈伯は能謡に於て天下一品との世評あるが今回京城の同好者により耕漁能謡會なる催し右作品を便宜なる方法により弘く同好者に頒つ由會規希望者は同市二番町謙閣利氏宛申込む可しさ

# 讀者文藝

(一等に十五錢(の)御觀券を呈す)

△一口噺「時事」

出坊『日本は各國に比して狂者が尠ないさうだよ』馬鹿な手を持つ親『はゝ道理で馬鹿が多いのだな』(一等) 市内櫻井町二丁目二三五 高須賀虎夫

△女房『女房を離緣する時に結納金を半分取つた人が有るさうだがお前さんも私を離緣でもする時はそんな事をするの』野呂助『いゝや俺はお前と別れる位なら死んで終ふよ』 寧邊 愛居子

△讀者『此の頃は物價騰貴でビールの喫飲が六錢五厘にもなつた相な』與太『有難い共れじやービールをうんと吞んで腹をあけよ！』 龍山 岡枝 省己

△與太『花にもアルコール分があるさ見なる』太郞作『ナゼ』與太『デモ花見に行つた者は皆花の香に醉ふさうぢやないか』 鳥致院 一鳥

灯ともと頃

▲本紙で中央停車場問題に就いて諸方面の意見を徵して居るが某國の讀者に依るさ▲米國には大陸的のがあるが多いから競爭が激しく線路の方でも完備して居るが紙面を飾ると▲四億圓を費へた程の大規模なる者であらうな▲四億圓と言ば朝鮮鐵道の總投資額一億五千萬圓に比較すればざつと二倍七分▲折角視察して來ても規模が大き過ぎるので朝鮮鐵道には應用すべくもないとは流石に米國式だ▲慶北の或局に信じ賭が催道した時土地の住民は非常に嬉んだが一說の某紳士はヒカンして▲通信機關は文明の利器だが我々には一向有難くないと言つたので忙しだ話でも質問すると▲以前は釜山の商人が聯絡して物價の騰貴に急使に依つて通知して貰ひ▲買占めも致放しもして居たが今は電信電話が出來るとさうはしこたま儲けた往時の紳士の系屆が取つて皆く行かぬからだと▲紳士の系局が取つて立て直して丸儲にした昔亭だこ一兵大笑ひ

讀者文藝課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等[illegible]

# 商況

## 兵庫期米

三日前場 大引 當限 二十六圓九十錢 先限 [illegible] 二十六圓八十六錢

## 東京期米特電

## 大阪三品特電

## 大阪期米特電

## 下關期米特電

## 大阪株式特電

[illegible]

## 雜報

◉綿糸布氣迷ひ 新甫後傍以來硬勢に轉せし三品相場は今[illegible]

米棉一圓高にて四五圓高に現物は[illegible]

綿布は龍し 一十圓六十五錢[illegible]

棉相場の變動

連聯か氣迷ひ

◉支那棉漸落か 内地綿市場の近況によれば白棉は米棉安綿糸安を受けて前勢更に昂らず[illegible]

紡績落棉及青梅綿 一齊安 梅綿も白棉の不勢を受けて[illegible]

◉正米持合ひ [illegible]

◉内地粗の其後 小麥は[illegible]

◉洋釘睨合ひ [illegible]

麥安は新小麥は [illegible]

五圓二十錢見當 三吋の二十

大連 より[illegible] 眼先各店 [illegible]

段の發表何如 [illegible]

◉塗料は軟弱 [illegible]

◉錫は本國高 [illegible]

## 下關相場

▲朝鮮米も氣強く [illegible]

## 各地商況

▲大邱(二日) [illegible]

## 南大門の廻穀

## 仁川正米

## 釜山穀物(二日)

## 仁川期米

▲三日前場(保合)

四十五錢に二十錢安 先二十二圓

宿付 押したるも賣物多く[illegible]

下漲の成行を示し依然保合の裡

## 生魚市場

## 市場雜觀

買物多く手仕舞や乘り替に殊に當中限

暗中飛躍開始尻

期米豆賣買御用命之節ハ特ニ御引立ヲ乞フ 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衞商店 仁川海岸町三丁目 電話長[illegible]番

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 令仲買店 電話長三六七・三六八

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ナ仲買店 電話長九〇五番

## 仁川米豆取引所

三日の七月限

## 天氣

曇り小雨

(三日午後六時) 五月四日

大阪期米(一日後場) [illegible]

仁川取引所 [illegible]
仁川米豆取引所
[illegible] 均値段十一錢四十錢一錢平均値段 [illegible]
△中限一節二十二圓二十七錢六錢十一錢四錢平均値段二十六錢二節二三日の七月限
△三日後場 大阪前止め二十六圓七十二錢後寄七十五錢の入電にて中二十二圓二
◉連絡船上陸客 二日午前 釜山入港高麗丸 二二等客 [illegible]
[illegible]

# ◉西伯利政府の日米兩國に

◆期待しつゝある切望◆

（是等が西伯利に於ける世界の視聴は今や東方に擴大されつゝあり殊に西伯利問題が喧しく論議されつゝある折から哈爾賓の一露紙は西伯利問題に就き次の論説を掲げたり）

新總司令官フォッシュ將軍は紐育タイムス記者と會見の際日本及び米國が獨逸帝國主義の襲來に對し逡巡する事無く直ちに西伯利に出動するの緊急なる事に就き其の所信を語りて曰く『西伯利に日米兩國が出動すべきは兩國に取りて事頗る重大なるのみならず、時機未だ遲しとせず、何となれば今や獨逸は西部戰線に全力を傾倒し居るの際なれば到底西伯利を越ね太平洋岸迄潜入し得るの時にあらざればなり』と、要するにフォッシユ將軍の意見の眼目は日米兩國軍が積極的に獨逸と戰はんが爲速かに烏拉爾の戰線を構成するを緊要とするにあり抑も本問題は英佛兩國に於て論議されたる處なり、而してフォッシユ將軍の殊に力説する烏拉爾戰線の構成は啻に日米兩國の之に參加するのみならず西伯利在住の數百萬の住民も亦同じく參加せしめんとす蓋し西伯利は

◆幸にして未だ（過激派の破壞的行動は左程に）◆

成功し居らざるのみならず、ブレストリトウスク講和が全露西亞に災ひするものなる事を憤り該講和を承認する事無く、且つ之等西伯利の反過激派の住民は同志を糾合して西伯利州議會並に西伯利獨立政府樹立の理想を宣言し居るを以てなり、西伯利州議會並に政府は單獨講和反對の決議を宣布し過激派の罪惡を指摘し西伯利に國民的權力樹立を計れるが聯合國にして若し獨逸の軍國主義に打ち勝たんと欲する以上「西伯利獨立政府は有形無形に其の援を期待し得べき事當然なるべし、果して然らば西伯利政府は直に起て積極的に國民の權力の横奪者乃ちボリシエヴイチとの抗爭を開始するを得べく而して後始て其權力は承認せられ又政治的經濟的獨立と獨逸の軍國主義より脱して其の自由に達すべし

◆こゝに最後に（吾人は繰返して云はん聯邦）◆

として獨逸と戰ひ西伯利を過激派と獨逸の手より救ひ出さんとせば速かに聯合各國が西伯利獨立政府を承認し財政的に將た工業的に援助をなすを要すと（哈爾賓）

## ◉講和と内容

◆羅馬尼とベッサラビヤ

ベッサラビヤと羅馬尼との講和條件に關し墺太利政府閣員の語る處に依ればベッサラビヤは獨立政府を組織し其の二名の大臣は羅馬尼政府の閣員となり又其の代表者を羅馬尼議會に送るべきこと又ベッサラビヤは言語、印刷、信仰の自由を有する事、尚ほベッサラビヤ議會は八十四對三票の多數を以て講和條約を可決したり（哈爾賓）

## ◉鐵道線保護

白色近衛軍の爲め芬蘭のウイボールグを占領せられたる事に就き其の後接手したるペトログラードよりの情報に據ればウイボール線はクルーウエル迄の鐵道線路は未だ赤色近衛軍の手にありて又芬蘭よりの汽車は故障なく運轉を繼續し居れるがペトログラードよりは發車し得ざる狀態なり鐵道線路の保護に對しては裝甲列車に多數の機關銃並に大砲を積載して警戒の任に當れり（哈爾賓）

坊ちやん嬢ちやん達のため

# お伽噺の會を開きます

日頃我京城日報を愛顧して下さる少年少女達の爲めに本社は何とかしてお禮を申し度いと考へ中でありましたが愈々今回京日お伽會を新設毎月數回面白くてお腹を抱へて笑ふ中にお爲めになるお伽噺をお聽かせする事に致しました、その第一回講演會を日曜日でさうして節句の五月五日左の通り開く事になりましたから坊ちやん嬢ちやん是非お出で下さい

## 京日お伽講演會

講師　龍山涙光先生

演題　◆孔雀鳩◆浮れヴアイオリン◆姉と妹

開會時日　五月五日（日曜日）午後一時

場所　市内日の出小學校講堂にて

京城日報社

地方巡回講演は追つて發表いたします

## ◉本營業未だし

四鄭鐵道局營業主任竹中政一氏の談に由れば從來行ひつゝある假營業を近く本營業に改進せん計畫ありしも研究の結果尚早の點あるを認む其は同鐵道局工事中三三大工事の竣工せざる際に於て直ちに本營業とせんか從來の工程局は監理局に改稱し全線を區分して保線係とせざる可らず今や着手せられんとする本架橋工事の如き到底一保線係を以て作業し得べきものに非ざる可らず局全力を擧げて竣工せしめざる可らず此際に於て本營業に移すは總ての點に於て支障を來す點あれば或る期間は從來の假營業を續行せざる可らずと（四平街）

## ◉乗二浦漁菜市場

乗二浦有志が豫て計畫中なりし乗二浦漁菜市場は今般愈々具體的の成案を得たれば發起人の調印を得次第其筋に向け出願することゝなり居れるが其内容を聞くに資本金を一萬圓となし之れを組合組織となす由而して發起人左の如し（乗二浦）

乗二浦竹中吉之助、福田榮治郎、常石周一、岩崎末一、池田彦吉、青木叔夫（以上乗二浦）、鎮南浦鳥越久則、鎮南浦水産會社（以上鎮南浦）、飯坂秀一（以上黄州）

◉鎮南浦在穀高　鎮南浦港四月末日現在の米穀在高は粗十三萬五千石、玄米四千九百石、白米五千六百石、總計十四萬五千五百石

## ◉吉林は滿洲の離れ座敷

三井物産哈爾賓出張所 法學博士 有賀長文氏談

吉林に來れる有賀長文氏は『何分忙がしい旅行で僅か三十日位の短時日で南北支那から滿洲朝鮮を瞥見しようと云ふ隨分無理な話しだが百聞一見に若かずで一通り見て置くと各地より來る書類に就ても判斷するのは餘程都合が好い譯です時間があれば北山にも登り思ひましたが街だけ一巡しました支那人には商店民家さても隨分富豪がある樣です』と語りて曰く

吉林は開きし以上に綺麗な市街で滿洲の離れ座敷です市場としても少さく無いやうです省城だけで人口が十二三萬もありますが物資の集散等に於ては長春に及ぶまいが需要地としては相當に邦人が活動する餘地があるでせう、最も周圍に何程の都邑があるか知りませんが將來吉會線も出來工業地として

### 有望なる工業地（だから製紙製材等す會社等）

定めし盛大でせう此處の三井に材木部を置いたのは丁度一年前の事ですが時機に適したか成績は惡くない樣です、將來何の位まで手を延ばしますか一向解りませんが兎も角く吉林材に就ては邦人側にても多種多樣の方法と資金に依つて今後益々盛に伐材せらるゝに違ひありますまい、吉長線の滿鐵移管に因つて吉林の離れ座敷も大分邦人が殖ねた樣ですが滿洲は至る處豫想以上の人口増加だと云ひますが昨日も哈爾賓で邦人の勢力には驚きました殊に

### 露支人間の取引が全部日本金建で實行される事で

是等は大に喜ばしい事です折角吉林へ來たのに僅一時間餘り皆さんに甚だ忙しい中を徒迷惑でした是から長春、旅順、立山等を視察して朝鮮に向ふ筈で京城へは五月四日の晩著く豫定です（吉林）

## 麥作　大邱＝慶北

慶尚北道に於ける本年の麥作は昨年秋に於ける播種當時より降雨尠なく剩へ近年稀有の嚴寒に遭遇したるを以て一般農民は稍悲觀の態なりしが本年三月に入りて恰も麥の發育時代に少量の降雨を見引續き氣温昂上と共に數回の降雨ありたるに依り著しく之が生育を助長したるに依り此分にて天候の順調を得れば平年作を下らずとの見込みなり

## ◉平北の産業（上）

平安北道に於ける農工業其の他製紙製材林業等の狀況左の如し

◆龍川　春耕期に入れるを以て一般農家は春耕準備の爲め繁忙を呈するに至り目下は重に肥料運搬中に屬し從來家内副業即ち製叺製繩は漸次少なく從て市場出廻りも僅少となれり解氷中一時土木工事も中止の狀態なりしが三月來堤防修理溜池掘鑿等小土木工事も頻々として起れるに至れり

◆宣川　農家は春耕の準備をなし肥その他種苗種子の選擇中なり叺繩類近來高價にて賣行良好なるを以て副業收入は増加の一方にありて只勞働のみを以て生計の根據となすものにありて生活難に陷れるもの不斷黒鉛界も解氷と共に復活の域に入れるも例年に比して振はざるものゝ如し

◆定州　本郡沿岸漁業も已に開始せられ相當漁獲しつゝあり黒鉛業者も冬季中止せるもの又は事業手控へたる者も陽氣の加はるに隨ひ事業を開始し或は工夫を増加する等漸次活動を始めたり林業は手廻し早きものは苗木の移植を爲すものあるも時季尚早なる爲め未だ準備行爲たるに過ぎざるもの多し

◆寧邊　春暖の候愈々農業開始時季に入りし爲めに一般農民は家内副業より轉じて戸外農業に忙殺せられ耕作準備並に肥料運搬中なり

## 寧遠みやげ

◆未だに耳輪を掛けてゐる女◆

寧遠の南の寧遠へ行つて來た人が同地の事情を詳しく調べて來たといふが餘り同地方の事は世間へ知られて居ないので聞て見たら左の如く語つた（在平壤一記者）

◆寧遠とは何んな所ですか◆

寧遠郡とは平安南道の最東北隅に位せる郡で面積百四十九方里（平安南道の約七分の一）其内耕地は約九千二百二町六反九畝あり何分位置が位置だけに春や秋の温かな期間は割合短かく夏冬の候は寒暑共に他地方よりも顯烈である、道路は平南安州より咸南咸興に通ずる道路があつて之を安咸道路といひ二三年前より改修工事を加へ目下安州から寧遠まで僅かに開通してゐるが寧遠から先きは未だ出來てゐないので此の土地の者や附近の者は一日も速かに完成させたいとの希望であると聽きました

◆作物は何んなものが出るか◆

前に云つた如く耕地も相應にあるから農産及び山野に生ずるものは大豆、粟、黍、玉蜀黍、馬鈴薯、燕麥、麻、薄荷、蕎麥、等の外、韮、石茸、山葡萄、山人蔘、茸、蕨、獨活等で此の中蕨は朝鮮有數の良品を産し又た椎茸を目下道廳の指導で栽培中であるが是は昨年旱魃のため成績は不良でありました。

◆外に特産物がありますか◆

あります養蠶は道内第一位を占め年額二萬六千八百二十八斤の蜂蜜を産し又た郡内から金銀砂金銅鉛黒鉛等の鑛物も出で更に牛の多い事は有名なもので郡内の生牛八千四百三十一頭に及んでゐますが、馬は割合に少く僅か五十八頭と驢馬が百二十七頭騾馬が八頭あるのみで豚は二千八百九十七頭ありまず。鷄は在來種一萬五百九十九羽であつて改良種は未だ百八十八羽しか居りませんが追々改良種を飼育する者が殖ねて行きます

◆魚鳥と樹木は何んなもの◆

魚は大同江の上流ですから川魚は豐富であるが鳥は雉の外餘り多く棲息せず其の獸は熊、山猫、狐、狢、兎、狢は澤山ゐるが土地の邊陬な割合に虎や豹は稀に見る位で樹木は赤松、樅、ヤマナラシ及びエゾ松、シナノキ、コナラ、ドロノキ、滿洲胡桃、イヌエンヂユ、ガノチ、レカンバ、シラカンバ等で可成り樹木は多い方でありまず

◆人口や戸數は何のくらゐ◆

人口は郡内で四萬四千四百九十三人戸數七千百五十三戸で内譯は

| 種別 | 戸數 | 人口 |
|---|---|---|
| 内地人 | 三八 | 九四 |
| 鮮人 | 七、一一五 | 四四、三九九 |

◆珍らしいことゝ人情風俗◆

珍らしい事といふのは今猶ほ土地の朝鮮婦人が耳輪を箝めてゐる者の多い事位ゐで人情は一般に敦厚で極めて平和であります。

◆暮らし向きは何うですか◆

何と云つても此んな山里であるから物價の高いことは目の飛出る程で平壤抔に較べると概して五割高と思つたら間違はありますまい。

## ◉浮いた〳〵の露貨熱で大騷ぎ

（會社員も官吏も藝者も酌婦も）

長春來信に曰く、昨年露貨の大暴落より長春に於ける露貨に對する投機熱は非常なる勢ひを以て瀰蔓し長春在住民上下の僥倖心を唆り立て居たりしが先月來の露貨の騰は茲に所謂露貨成金を生じたる爲め近來殊更に留相場の投機熱の勃興し眞面目なるべき某食料雜貨商某時計商某呉服商等普通の實業家連迄も其渦中の人となり誰は何程儲けしとか彼は幾許の損失を生じ取引先の支拂困難になりしなぞ市中到る處に露貨相場の噂ならざる無く新市街の某現物取引店には是等の賣築家連が殆んど

### 本業を餘外にし

熱中し居る處は誠に寒心すべきものあり加之此投機熱は現今官吏より會社員銀行員商店員等より花柳界の女等に至る迄露貨の賣買取引を口にし孰れも一攫千金の夢に憧れ居る體は風紀上にも注目に價すべく而かも彼の僅少なる賭博にても法は之を禁じて直ちに檢擧さるべきも斯る投機方法に就ては法律は如何とも防止すべき策なく

### 惡風は長春全體

の僥倖心を助長せしめて遂には如何なる結果を生せんかと有識者間には憂慮されつゝあるも利慾に淫せる人々は未だ投機の恐るべきを覺らず唯二三の僥倖者のみを目標として漸次是れに傚はんとするの趨勢を生じ其弊の及ぶ處圖り知るべからず、されば市民の堅實なる志操は刻々に破壞されんとしつゝあれば當事者等は此傾向に留意して同市民の反省を促し投機心の防止法を講じたきものなり

## 平安南道投資總額

――銀行及び海運業を除く――

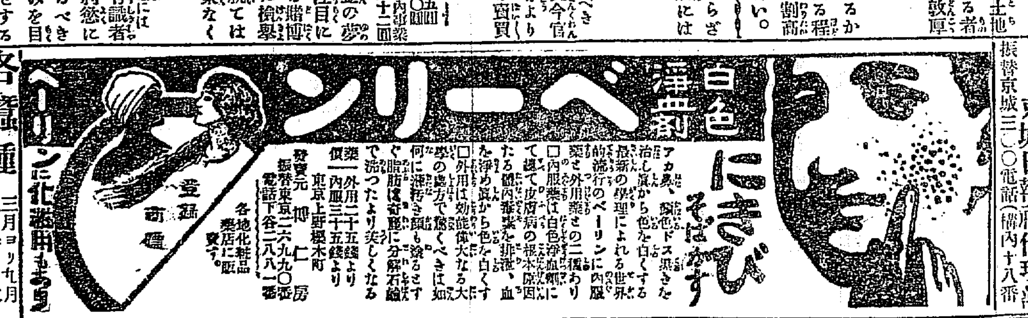
管内起業（内地より投資　六三三七五圓／外國より投資　五〇〇〇圓）
引受額
朝鮮外に本店を有する會社の平南管内事業
經營投資額三百五十七萬八千二百六十二圓

## ◉四平街の家族會

◆奥地の春に斯んな樂しみ◆

例年四平街の行事たる市民運動會を中止し市民側家族花見會を五日の日曜日を以て四平街より西南三十丁の花郷に催さん計畫あり當日は市中側家族擧つて參加を希望し自家調理の辨當を携帶し酒ビール其他の飲料及び汁粉等は有志の寄附によつて設備すべしと（四平街）

▲原色版▼
金剛山勝探繪葉書（六枚一組）定價三十六錢 郵稅二錢
朝鮮名勝繪葉書（三枚一組）定價十八錢 郵稅二錢
金剛山の分は萬物相、海金剛、溫井里の分は大同江の朝、金剛山、龍淵の秋、赤壁江の朝、海金剛、ダルタの分は龍潭、水原。
朝鮮名勝 ……
を實地に描寫したるもの最良の紙質を以て其の優美なるは歐米の夫れに比し決して遜色なき鮮麗なる印刷と相俟つて最も得がたき良品なり。
京城大平通一丁目
京城日報社代理部
振替京城三〇〇電話（構内十八番）



アカ鼻、雀斑、ニキビ、ドス黒きを治し黑皮膚から色を白くする最新の學理によれる世界的流行のベーリンに内服藥と外用藥との二種あり
口内服藥は白色浄血劑にて速て皮膚病の根本原因たる體内毒素を排泄し、血を淨め黑皮から色を白くす
口外用は効能偉大なる學の處方で臨くべきは如何に汚れた顏も殺るさず脂肪ほ寄麗に分解石鹸で洗つたより美しくなる
價藥 一外用二十五錢より 一内服三十五錢より
發賣元 東京上野櫻木町 抑仁房
振替東京二六九九〇番 電話下谷二八八一番
各地化粧品藥店に販賣す。

各蠶種
肥後隈府町
吉井蠶種店
三月ヨリ九月迄毎日出穴

（呈進錄目）
山葉、鈴木製樂器代理店
各樂器卸小賣
セヤマ樂器店
京城本町二 振替京城五二五番

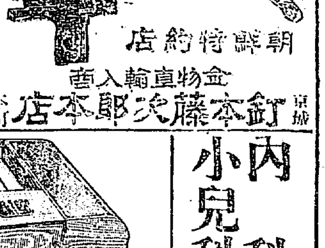
櫸賣却
建築材車輪材看板用
各種多數入荷致し候持別安價にて賣却仕候間多少共御用命の程奉願上候
京城黄金町四丁目角一九〇
建築業 深堀商店

時計貴金屬指輪眼鏡商

京城本町二丁目 京城銀行前
三浦天龍堂
電話一二〇〇 振替京城三〇四番

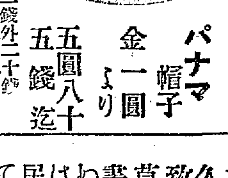
白神洋行
鐵材
鋼 浪板、平板
針金、洋釘
新田帯革總代理店
ペイント、油類一切。
コークス、セメント。
耐火煉瓦、モルタル、
スコップ、シャブル
帶革、ロープ、機械、工具、附屬品其他
京城

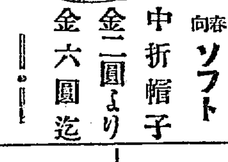
松田式ポンプ



朝鮮特約店
金物直輸入商
京城 釘本藤次郎本店

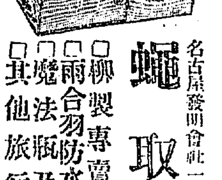
▲最新流行帽子▼
春向 ソフト 中折帽子 金二圓より 金六圓迄
パナマ帽子 金一圓より 五圓八十五錢迄





▲送料郵内十二錢外二十錢
▲鳥打帽其他最新形澤山
◎御取揃へ居り候 御注文の際は柄向（縞とか無地とか）色合御嗜好及價格頭廻りの寸法御申越被下候はゞ必ず適當の品見計ひ御送付可申上候
京城太平通
京城日報代理部
電話構内十八番 振替京城三〇〇番

診察時間
自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番



蠅取器
名古屋發明會社一手販賣
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント
□魔法瓶及中瓶一取揃
□其他旅行用具一切
高木旅行用具店
京城本町一丁目（電話一三四番）

内科 小兒科
村上病院
京城永樂町二丁目（商品陳列館前）
電話六三三番
院長 醫學士 村上龍藏

時分柄申分なき氣候と相成申候折柄皆々樣にも御變りもあらせられず何よりの事と目出度存上候
久敷御引立を蒙り申候八景園事暫く休業致居り候處此度私儀皆々樣の御引立を力草に引繼開業致事と相成申候當園は晝夜を分たずそよ吹く涼風とながめあかぬ漢江の流れ殊に漢江に浮む月夜の景色は又一層の風情と皆々樣の御批評を賜はり居り候に付ては萬端御意に叶ふべく心懸けて御手輕にお遊びを賜はるべく候すべり申候に付何卒舊に倍し御厚情御引立を只管奉願上候
舊龍山元町三丁目（漢江川岸）
八景園
諸岡幡三郎
追て氣節柄漢江の舟遊又一廚の興味に候間是又萬事御手輕に御用御受申べく候に付御用命奉上候

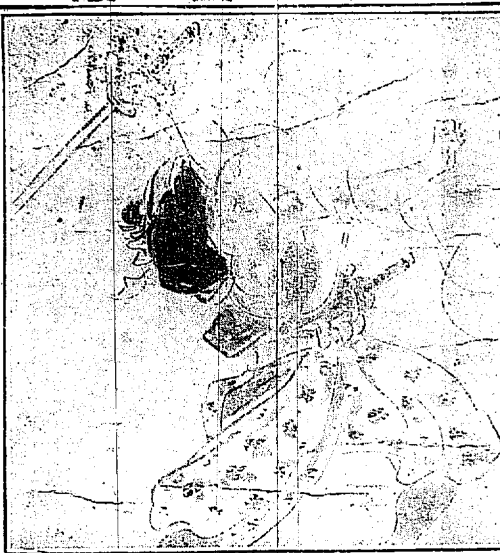
▲物は付□券を至急なものは六
▲謎「宝海避とかけて」
▲一口噺「時事」
四日 五日 六日 七日 九日
五日 六日 七日 八日 九日
表後一週間以内に到着の選者には五十錢普通告者に限る
但何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局謎者文藝係
報
▲京城測候所
（四月三日正午）
京城最高温度 六十九度五分
前日最低温度 五十五度三分
[illegible]

# 塚原卜傳

第六十四席

悟道軒圓玉口演

常陸國笠間の松原處刑場、塚原小太郎勝義は親無き後の親に代る伯父藤田權頭、身を捨てゝも助けんと矢來の中へ飛入つて二人を左右へ切落し、五平次が言葉を聞き小『人面獸心の汝等を片端より切捨て呉れん』と一刀を振冠ると豫て用意に及んで待設けた彈正の家來、庭崎武右衛門、村田三藏、野々山孫右衛門、松田十郎、服部大鐵、齋藤仙吾、本多武十郎、是等を初めとして得物々々を持て追取圍む、此時勝義獅子の怒りをなし國吉の刀を取直し當るを幸ひバッタ／＼と薙立てまする、斬人は神陰流の名人塚原小太郎、刀は粟田口國吉の



名刀、見る／＼間に十二三人を斬て落し、血の雨が降るかと思はれるばかり、處へ飛込んで來たは秋山伴作、之れも武藝は可成り出來ます、大刀を打振り／＼斬立てる夫れがため其所へバタ／＼討たれまする者數知れず是を見て遠藤五平次『ヤア、方々手緩い／＼、速かに彼奴等二人を討て取れ、斬つて捨ろ』と烈しく下知を傳へる彈正の人數は段々嵩んで參りまして、中々容易に此所を逃れる譯になりませんから、伴作に於ては伴『小太郎樣、此敵は私が引受けますから、貴所は權頭樣をお助けなされ、少しも早く此處をお立退きなさるやう』小『心得たり』と、磔刑柱の下へ蒐寄りました勝義、磔刑柱を引拔き、權頭の縛の繩を切て漸く伯父を助けました、手を取つて此場を斬拔けやうとする、此方は秋山伴作、全身血塗に相成り縱橫無盡に薙立て居りまする、此時筒音高く飛來つたる一發の彈丸は伴作の胸から背へ掛けて貫拔いた、何條以て堪るべきアッといつて其所へ倒れました、小太郎に於ては是を見て南無三拐は伴作討死をいたしたかと歎いたが致方はござりません、己れ一人なれば何うとも成りまするが、伯父權頭を連れて居りますこと故思ふやうに働らくことも出來ず流石の小太郎勝義も進退に谷まつた時に數萬の見物が雪崩を打つて逃げる、其中から急遽に矢來へ乘込んで來た十二三人何れも白き布を以て覆面をいたし天秤棒の如き大いなる太刀を引拔き、佐竹彈正の人數へ斬つて入る當るを幸ひバタ／＼薙倒しまする是れ即ち別人ならず上泉伊勢守の門下に[illegible]丸目藏人、神後伊豆、疋田文五郎、淺山三五郎、戸塚源藏、山井八郎、宮原一傳、西條熊之進、千葉小六郎、相原新藏、神谷傳などといふ龍虎、或は四天王、又は八天狗と云はれる大先生が斬先を揃へて斬つて掛りましたから彈正方は堪りません、其太刀先に向へば一人として助かる者はないバタ／＼／＼血烟り立つて其所へ斬つて捨てられまする此勢に意氣を挫かれワーワッと八方へ崩れ立つた、遠藤五平次に於ても此には辟易して眞先に立つて逃げ出した、勝義は天の祐と喜んで伴作の側へ蒐寄りまして見ますとモー事切れて居りまする、ヤレ／＼不憫な事をいたしたと涙と共に髻を切拂つて手早く之を懷中なし、伯父權頭を引摺つて四邊を見廻す、其所へ蒐寄つた面々◯『塚原氏、危い所でござつた、お怪我もなくて重疊……』と云ふ顏を見れば神後伊豆守を初め同門の人々、小『イヤ之れは何人なるかと思ひしに神後殿初め各々方でござつたか、必死の場合、御助力なくば勝義一命危き所、千萬忝けなく存ずる』伊『何は兎もあれ少しも早く御立退なさるやう』と是から一同力を合せ塚原伯父甥を助けまして、松原を後に川端へ引揚げて來ると、幸ひ繋いであつた一艘の小船、是へ一同飛乘つて纜を切り拂ふ、矢を射る如き急流疾風の如く船は走る


院長 醫學士 森定吉
(芙蓉醫院改め)
内科 小兒科 森病院
入院隨意
京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡 電話二六一三番

旅行中の處歸京 從前の通り診療に從事致し候
内科 小兒科 女醫 川崎朋子
京城明治町二丁目(電話長一五〇四番)


五月五日 日 九星
舊三月廿五日 壬子
本命 七赤 西 戊 先負

▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible]

## 演藝案内

### 稻荷座
本町五丁目 電話二〇二八
浪界壯年泰斗桃中軒雲太郎來る [illegible]

### 黄金館
電話二三六七 二三六六
天活會社新規撮影 ▲新劇『一兒雷也』全四巻 [illegible] ▲ミラの秘密 [illegible] 新派悲活劇 嚴の娘 全四巻 [illegible]

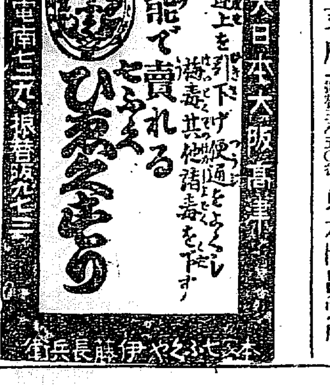
### 有樂館
活動寫眞常設館 電話(階下二二〇) [illegible]
◯猛獸活劇『女丈夫』全三巻 [illegible] 藝術劇『酒屋の娘』全五巻 [illegible] ◯新派悲劇『夜刃の面』全三巻 [illegible]

### 壽館
京城本町 電話一〇五〇
當る五月四日午後六時より 筑前琵琶演奏會
旭翠會 永田 / 旭翠會 平岡 / 旭貫會 武田 / 佐々木 / 旭翠會 吉本 / 旭翠會 勇 / 旭映會 相原 / 旭翠會 永井 / 旭映會 中村 / 旭翠會 松本 / 石田 / 加藤 / 旭江會 村
[illegible]

### 大正館
櫻井町 電話八七三
當る五月三日より大寫眞提供 [illegible]
△米國キーストン會社製 ◯大滑稽『コンクリン墮落』全二巻 △立花貞二郎一派出演 新派悲劇『吉丁字』全三巻 [illegible] ◯冒險活劇『森の奇人』八千呎 [illegible] ◯舊劇『阿波十郎兵衛』全四巻 [illegible]
◉入場料は今回に限り破格金拾五錢金廿錢◉

### 浪花館
明治町二丁目 電話二六〇番
◉五月二日より開演 新講談神田伯道氏來る [illegible] ▲語種々(三幅亭千代子)▲寛政力士傳、蒲生家三勇士、軍事談(米村雪子)▲家庭ハ情、大久保利山、暗殺事件(東洋軒辰右衛門)▲探偵、脇大尉、壯士之鐵腕、星亨君之辨護(長講三席)(伯道)


外科 皮膚科 花柳病 内科 小兒科
島崎病院
京城旭町一丁目(本町通り左に入る)
診察夜九時迄 電話二七三六番
入院隨意 院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一




資本金 壹百萬圓
諸積立金 參十一萬五百圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八、二三一〇、一二三四 振替京城一六八〇七
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
南大門支店 電話一七八八 振替一六〇六番 平澤支店
本町支店 電話二一五 群山支店
仁川支店 東大門出張所

京城電氣會社製 特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番
金物商 島田忠作商店

日鮮會話精通
西村眞太郎著
朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 成商業學校講師
袖珍總クロース頗美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられよと欲せらるゝ人士は速に本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の内容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百をこす
ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町一丁目 大阪屋號

專門眼科
入院隨意
江頭眼科醫院
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄



博士の賞讚ある 美味滋養 葡萄酒ですもの!

一番良いに決つてゐる

赤玉ポートワイン

特に斯の如き人は赤玉ポートワインを御飲用あれ
◉貧血の人 ◉産前産後の人
◉神經衰弱の人 ◉精力衰退の人
◉食慾不進の人 ◉虚弱の人
キツト利目がある!!

朝夕の一杯は百藥に優る

血を增し肉を肥し元氣を盛にするには滋養豐富な藥効的の葡萄酒に依らねばならぬ事は歐米各國の醫學大家の證言である然も數ある葡萄酒中で諸君は最も滋養豐富品質優良なる者を撰擇をせねばならぬ赤玉ポートワインは此点に於てすでに七大醫學博士の證明と賞讚のある名實共に全き模範葡萄酒で多年の實驗と學理を應用し到底他品の摸倣し能はざる特別醸造法に據る葡萄酒である健胃補血興奮強壯の効顯著なる点に於てすでに大醫方の藥局に於て滋養藥餌として採用されつゝある摸範葡萄酒にて加ふるに天然の美味を保有し居るが故に婦人小兒の口にも適する一般家庭に常備すべき葡萄酒である

赤玉ポートワイン 蜂印香竄葡萄酒 代理店 大阪 祭原伊太郎

# 京城日報

第五版

五月四日朝刊（朝夕刊と併せて八頁）

本紙定價 一ヶ月金五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話番號 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

[illegible]見るに保險を契約する者と數[illegible]の傾向を現せり左の如し（千圓位）
月次 本年新契約 前年新契約 本年解約 前年解約
[illegible]法を以て拂込みを爲す者減少[illegible]箇年拂に依り拂込む者漸次增加[illegible]傾向を生じ益[illegible]つゝ昨年[illegible]に於て[illegible]の實況を呈しゝあ[illegible]本年一月及び二月中は各[illegible]險金支拂金額は七十八萬六千七百[illegible]七十四圓又二月は百萬千二百二十五圓なりしもの本年一月は九十三[illegible]して前年同期に比し死亡率の增加せしは事實なるが如く作併斯の如きは大勢より見て頗る憂慮す可き事[illegible]努力しつゝあれば例年四月は花見時と稱し募集成績の極めて不況なる時期なるに拘らず更に前月に比[illegible]

## 露國の擾亂と戰局の前途（五）

高柳少將談

即ち中歐同盟國は如何なることをして居るかと云へば露西亞を自國の間に幾多の獨立州を作つて獨逸の勢力を歐露の三分の一にまで植付けてしまつた。即ち是等數多の小獨立州は獨逸と露本國との間の立派な墻壁である、斯の如くにして露西亞を脅したる兵力を以て一は波斯に向つて其宿望を遂せんとし一は緬甸印度に遂する便宜の爲にドン〳〵革命を助けて居る、而かも印度は英吉利の統治を謳歌して居ない、更に宗教上に於ては土耳其と主義を同じうする回々敎徒が多くあるのであつて之に對して獨逸の手が及ぶと云ふことになれば將來は如何に成行くであらう。一方西部戰場に於ては聯合國に武力の打擊を與へ、即ちアミアン方面に於ては大なる成功を收め深さ十五里、幅五十里に亙る地域を占領し[illegible]一方面に於て深さ三十里、幅十里も取つて聯合軍に打擊を與へ、東は露西亞を叩き潰した餘力を以て豫ねての宿望たる波斯、アフガニスタンに向ふのみならず更に西伯利亞に其手を延ばすと云ふことになれば極東の平和は之が爲に破れぬとも云はれぬのである、此時に當つて日本の現狀を見ると此大切なる時機に於て戰爭氣分が甚だ薄い、戰局の前途はどうなるか豫言は出來ないが若し萬一日本が何事かしなければならぬと云ふ場合になつて今日の氣分を以てやつては英吉利の如く、佛蘭西の如く伊太利の如き失敗が重ねなければならぬ、一朝事ある秋に於て英の轍を踏まんか、佛の轍を踏まんか、伊の轍を踏まんかと云ふことを考へて見ると吾々は大に注意を要する時期であると思ふ（完）

## 鮮滿在鄉軍人會に望む（六）

帝國在鄉軍人會理事 永沼中將講演

そこで私は二所として演壇に上つたが「今日は最早軍人會の事に就て申述べる必要はない。諸君は前節に述べられた神田區の人である議員、市參事會員、辯護士である人から斯く認められて、重き責任を負はされた。今後諸君は如何なる事をしたならよいかは敢て言ふを俟たない。諸君は益々軍人會の中堅となり、一方に於て青年の指導に任じ、人心の頽廢を立直すことに就いて大に重きを置かれて居る。故に諸君は其の爲すべき事に向つて眞直に進む外はない。私は今日其の外には別に申述べる事が無い』と若干さう云ふ意味に於て敷衍して壇を降つた事である。之は田舍の事ではない。東京の大都會の眞中而かも生つ粹の江戸兒の集つて居る神田區の軍人分會が斯かる狀況にある。之に依つても內地に於ては在鄉軍人會が世間に認められ、大いに重きを置かれて居る狀況の一端が分るであらう。其他の地方に於る軍人會發展の模樣は推して知る可しである。現に名古屋市の近邊の郡に於ては模範に近い分會が出來て居る。昔自分は參謀次長と一緒に態々東京から夫れを視察に行つた事があるが、其處の分會では青年團と協力して最も調査に困難なる各人の財產を調査したり、統計を取つたり、其他產業上の調査なり地方自治全般の上に大いに盡力して居る。仕事をする上には

△軍隊で鍛上げた軍人精神と旺盛なる體力とを以てするのであるから成績の惡からう筈が無い。斯の如く一般に在鄉軍人其のものゝ素質が向上した爲に地方の人々が之に同情を寄せ、之を盛立てゝ行くと云ふ風になつて來た。之が近時軍人會が異常の發達を遂げつゝある第一の原因であらうと思ふのである。第二の原因と觀察せらるゝのは青年團の發達である。內地に於ける青年團の發達は昨今著しいものである。滿洲に於ては既に所々に微々たるものではあるが青年團が出來て居る。其の名稱は或は青年義勇團と言ひ或は青年團と言つて居るが、兎に角青年團の形の出來て居る所は數個所ある。然るに鴨綠江を渡つて、朝鮮に入ると所々で青年團が出來て居るかと聞いて見ても一向出來て居らぬ。丸で

△其の萌芽さへ見えない。どんな小さい所でも五十人や百人の內地人の青年が居るであらうが、夫れを面倒を見て指導すると云ふ考へが起らないものであらうか。

## 朝鮮風教の爲めに

槐翁

○我が敬愛する諸陽山人は、頃者『京城風俗觀』『小說雜貨壞亂風俗』『浮浪子一覽』等と題して、世道人心の爲めに萬丈の氣焰を擧げて居るが、皆是れ春秋の筆法、警世の巨鐘である。就中『浮浪子一覽』の文に至りては、吾人の最もその感を深ふするものと謂はねばならぬ。

○彼等浮浪者の爲す處を見るに、怠惰放恣にして、父兄の訓誨を聽かず、師友の指導に從はず、酒肆に[illegible]、青樓に出入して、一[illegible]夜の豪遊に、千百[illegible]或は醜妓を挾み、用[illegible]を驕りて、東西に[illegible]來の金錢財產を蕩盡し、其甚しきものに至りては、他人の財を[illegible]取し、族戚弟妹の業を妨げ、或は婦女を脅迫して、其の衣服諸具を典質する等、殆んど停止する處を知らざるの有樣である。

○官憲に於ても、是に就ては大に要ふる所があつて、その甚しきものを檢擧して、懲罰に付する等專ら其の取締を嚴にして居るのであるから、當り前なれば悔い改むべき筈であるのに、毫も改悛の色を見ることの出來ぬばかりでなく、寧ろ日を逐うて益々甚しからんとするの風あるは、誠に遺憾に堪へぬ。

○諸陽山人は『彼等は家に在りては其の家を敗り、其の身を亡ぼすもので、國に在りては、五倫に悖り、五常を紊る民である。彼等は鄕黨校塾に入るべからず、士友擯斥として取るべからず、邦法邦命の貸すべからざるもの也』と慨して居るが、吾人も其の感を同ふするのである。

○五常に悖る彼等の行動に對しては、禽獸として取扱うて差支なからう。また彼等の惡心惡業は、拔舌地獄に墮つるとも、これ彼等の自業自得として、吾人の同情する必要もないが、世の良家の子弟をして、滔々として其風に染ましむるなきかを窃かに憂慮するものである。

○識者も之に就ては、年來非常に頭腦を傷め、其感化の方法として、京城に感化院設立の議あるは誠に時宜を得た計畫として、吾人の双手を擧げて贊同する處である。願くば其の實現の一日も早からんことを希望して已まぬ。

○吾人は此機會に於て、この消極的風紀の必要を感ずると同時に、一歩を進めて名教の振起し、世道を革新し、荒廢せる人心に光明を與へ、彼等浮浪無賴の徒をして、途に一歩も足を踏み入るゝの餘地なからしむることの、世道の爲めに一大急務なることを絶叫して置く。

## 愛劍趣味（一）

片岡鶴[illegible]

刀劍の研究に就ては多士濟々たるに拘らず余の淺見を公表するは如何にも烏滸がましけれど聊か思ひ出づる儘を述べんに抑も人間は趣味に生るとは余の實感にて下手の橫好きの數には洩れざる次第なるが就中愛劍熱や正に四十度以上なれば時に冷却の必要なしとせず然れども其の範圍の洪範なること刀劍に如くものなかるべし蓋し單に趣味なる意義を以て刀劍に對せんか寧ろ崇敬を失するの恐れあり何んとなれば日本の寶劍は建國の大本にして則ち神器三種中の隨一たればなり從て神代以後に於ける各名匠の鍛錬したる寶刀も又た多く各神社に鎭座せられあり尚ほ多くも昔は後鳥羽帝御番鍛冶の御定めありて次家の作刀を御親らかせ給ひ近くは先帝陛下宮中に刀劍鍛冶の司を設けさせられ御鍛錬にも『身にはよしはかすなりとも劍太刀研きなれずば大和心を』と[illegible]の大御心こそ[illegible]からずや彼の發しては[illegible]料[illegible]り凝て[illegible]と鐵となるもの所謂我が國民性の露にして即ち刀劍は眞に日本民族精神の象徵たる所以なり而して刀劍は貴顯紳士と自ら其の內容を異にするものにて玩弄的趣味を以て刀劍に對するが如きは最も不謹愼たるを免れず之を大觀すれば尊皇愛國の眞諦を以て刀劍を崇敬し之を小觀すれば一家一身の守護として寶藏すべきものなり余は今假りに眞正なる趣味觀念を以て刀劍に對すると同時に其が趣味の洪範なる所以を略敍せんか大體左の數項に分つことを得べし第一日本の名刀は世界中絶無の傑作にして外人の模造し能はざること第二日本國內に於てすら名刀の再鍛は千歲不可能たること第三日本の名刀には神秘的威靈の存すること第四日本刀は其の國其の家の歷史と離るべからざる關係を有すること第五日本の名刀と英雄との因緣深甚なること第六日本刀の外裝には多種の美術を包含せること第七日本刀は國民精神修養の淵源たること第八刀身及び其の外裝に因り時代人情風俗の變遷を知り得ること第九劍魂と相伴うて武士道の發揮せられたること第十刀劍は家庭教育上重大の權威を有すること等如上は余が日本刀研究觀の梗概なり故に次回より研究の次第を秩序的に記述することゝせん

## 日報詩壇

春雨　大隈 鳩山

當住東山儘意心。疑風一夜入陶林。蕭々細雨空方釋。習覺春遲禪寂深。

評曰、用韻如意、語語穩適。

立房　竹田 蓀甫

細雨菜畦白露萋。滋味殊多養老宜。不許銷由無一物。寒宵獨酌舉杯時。

評曰、劉安知己。

寄友在德陀　茂泉 鴻堂

一路東風度寒鄉。又彩霞料知陀畔。錫川賦梅花。

評曰、不事巧思而却巧。

## 圖書館を設立せよ（一）

●王世子御慶事の記念として●

法學士 李範昇

（李範昇氏は昨年京都大學法科を優良の成績を以て卒業し今尙京都に在りて學事の研鑽に勵みつゝある篤學の士なり左の一文は同阿部社長に致せる書柬也）

阿部社長足下。春の朝寢未だ淡き一千七百萬の人々も今や半島の隅々にてあはたゞしく眼を擦り初めて居ります、此れ足下の打つ警鐘の反響偉大なる爲めで御座います足らざる御禮を衷心より申上げて止みません。

足下、李王世子殿下と梨本姬宮殿下との御慶事は聞く處に依れば今秋御擧行あらせらるゝとの事で御座います、小生等半島の人々は勿論內地の方々も御慶祝致さないものはあるまいと存じます、兩宮家の御慶事其れ既に御芽出度き限りで御座います、まして內鮮間の融合日を逐ひ其の色彩は濃厚になり上より下に至るまで氷の解け合ふが如き觀が御座いますに於ては猶更に慶祝致さゞるを得ませんのです。

足下。此の曠古の御慶事を如何にして記念致すべきか、小生は此の御慶事を尤も有意味に記念致さねばなるまいと存じます、苟も皇室を尊敬し國家を思ふものは皆同感たるに違ひないと存じますが記念事業と致しては可成的御慶事の御本旨に適へるものを選び度い。如何なるものが御本旨に適すべきかは申すまでもなく內鮮融合の源泉の流れを淸う且つ急に致すべきものを要します。

足下。自覺足らざる吾等には先づ自覺を要します。自覺は普通知識を待たねばなりません。而して普通知識は圖書館殊に通俗的圖書館の如きものに依りて得る他詮術なしと存じます。學校と新聞と圖書館此の三者は社會教育に缺く可からざるものなるは誰しも熟知する處で御座います。然るに半島の何處へも未だ圖書館有るを聞かざるは誠にかなしむべき事では御座いますまいか。小生の如きものは寧ろ圖書館設立の急を叫ぶもので御座います。目下半島の情況は悠然として普く學校の教育をのみ待つ暇が御座いません。圖書館を公開致して學校の新教育を得受けざりしものへは勿論、得受けしものにも盛に新智識を媒介致すべき必要が御座います。隨時講演及び講話會を開き其の足らざる處を補ふは申すまでも御座いません。附屬事業と致して兒童教育所を設け出來得る限り其の若き芽を好く教導し培養致すのみならず、又定期及び臨時に無料幻燈及び活動寫眞會等を開き專ら婦人達の來觀を誘うて（男子及び兒童へも必要ですが）平易なる講話と此れに伴ふ[illegible]を利用致し（此れは餘程注意致して催さなければ、失敗し易しと存じます）婦人として又社會の一人として缺くべからざる智識を注入せしめ母性の改良を努めねばなるまいと存じます。先づ京城を始め各道に及で、各郡には巡回文庫や巡回講話を用ゐて此の如く一般的知識を普及せしめ以て自覺せしめ、時代を知らしめ、自から立たしめ厄介者ならざる程度まで進ませば幾分御慶事の御本旨に適へるものと存じます。

足下。此れを慶祝致し記念致さねば如何なるものを慶祝致し記念致すべきか。翼くば、先づ京城に記念圖書館を設立致すべく御多用の時間を割愛致され御盡力下さるゝ事を。足下にして一度び立たば此れしきの事は唯其の建築の日を待つのみで御座います。（四月廿九日京都にて）


堅牢無比 パイン『學生號』萬年筆發賣

讀者諸君の御希望により技術最も優秀なる「パイン」萬年筆製作所に命じ特に製作せしめたる此「學生號」はペンが小さいのと總ての粧飾を除き實用を專一とした爲に斯く廉價なのであります
▲「學生號」は「パイン」の長軸とも云ふべきもので外見は少しも違ひません
▲同じ「十四金ペン」同じ最上の「エボナイト」軸で此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず銀行、會社、學生間に益々喧傳されて居るのも此故に外ならざるのです
特價 貳圓八十錢也
□發賣元 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

實益無限趣味津々筆陣堂々の五月號

# 朝鮮公論

▽內外兩大臣の更迭批判 內務大臣 後藤新平論 外務大臣 水野錬太郎論
△良外相良內相……前代議士 長島隆二
△霞ヶ關の新彩……前代議士 早川鐵冶
△新外相と新內相……貴族院議員 男爵 松岡康毅
△內外相更迭と現內閣……法學博士 高田早苗
△閣員更迭と政局觀……衆議院議員 早速整爾
▽要するに植民地は 勝田藏相
▽公論餘滴
歐洲戰局の推移と日本の地位……長瀨鳳輔
▽議會に於ける鮮銀法改正案顚末 番外記者……不考卯坊
吉林地より僕の俗論……角戀坊
鮮滿に於ける五大實業王國の「事業爭奪戰」 三井王國の批判的解剖 石森生
▽貴衆兩院議員の朝鮮會 朝鮮商銀の發展 一記者
現代政治並に立憲政治の純理より觀たる議會 植原悅二郎
母國及植民地間に於る共通法の制定と其效果 朝鮮公論社長 牧山耕藏
我國製造工業と其振興方策……九大總長工學博士 眞野文二
▽最近鮮滿の金融及經濟 一記者
▽共通法實施と鮮人の權利關係……在京記者
東伏見宮殿下御來京
藝妓番附
後藤新外相出世物語 双葉香
京城代表藝妓點取表附講表 京城用名妓を赤裸々に解剖した興味ある表
奇策縱横大ビール戰の嚴正解剖（三大麥酒會社の策戰）
これでも理想のホームか 大田秀穗
緬羊飼育の話……若佐生
▽溫泉宿の哀話 親の爲めに身を溫泉宿に捧げ南鮮の泣く女……切蝶庵主人
▽花柳病の話 瀨戶醫學士
米國より歸りて 佐藤得四郎
▽戰亂の擴大と帝國財界の膨脹……鮮銀理事 片山繁雄
過激派の思想と勢力 早大教授 片山伸
購讀申込所 京城 朝鮮公論社 振替京城五七七番
……（1）定價一冊三十錢◉郵稅一錢五厘◉六冊前金郵稅共一圓七十四錢◉十二冊前金三圓五十八錢◉全國書店にあり

# 京城出張所開設

弊社儀今般左記京城出張所ヲ設ケ營業開始致候間何卒特別ノ御眷顧ヲ賜ハリ度奉懇願候（京城支店設置ニ關シテハ目下認可申請手續中）

京都市今出川通智惠光院西入
東亞蠶絲株式會社

營業科目
桑苗、桑種子
蠶種各種
繭及生絲
蠶具各種

京城出張所 龍山驛前
京城蠶種製造所 往十里
密陽蠶種製造所 驛前
春川蠶種製造所 [illegible]外


## 破產終結決定

京城府漢江通十一番地
破產者 三木熊之助

右ノ者ニ對スル破產事件ニ付破產主任官朝鮮總督府判事三田村平[illegible]ハ手續終結ノ申立ヲ爲シタルニ因リ當法院ハ之ヲ審査スルニ大正七年四月二十七日ノ債權者集會ニテ管財人ノ終局計算ヲ了シタルモノト認ムルヲ以テ破產法第千[illegible]十八條ニ依リ決定スルコト左ノ如シ
三木熊之助ニ對スル破產手續ヲ終結ス
大正七年五月二日
京城地方法院

## 法人登記

開城地方金融組合登記事項中出資ノ總口數參百四拾口拂込ミタル出資ノ總額金壹千貳百[illegible]圓ニ變更ス
右大正七年四月貳拾九日登記
京城地方法院 開城支廳

洪川地方金融組合設定ニ因リ登記事項中左ノ如シ 主タル事務所在地江原道洪川郡洪川面[illegible]里 理事 李[illegible]ノ住所ヲ江原道洪川郡[illegible] 右大正七年四月參拾日登記
京城地方法院 洪川出張所

麟蹄地方金融組合登記事項中理事土屋佐太郎辭任其後任トシテ麟蹄郡麟蹄面上東里[illegible]ヲ理事ニ就任ス
一出資總口數參百七拾八口
一出資總額金九百九拾貳圓
右大正七年四月貳拾九日登記
京城地方法院 麟蹄出張所

法人登記
海州地方金融組合登記事項中一出資ノ總口數四百六拾九口 一拂込ミタル出資ノ總額壹千六百[illegible]
右大正七年四月參拾日登記
海州地方法院 平山出張所

寧越地方金融組合登記事項中出資ノ總口數[illegible]百四拾五口ニ、拂込ミタル出資ノ總額金貳千貳拾四圓貳拾[illegible]錢ニ變更ス
右大正七年四月貳拾九日登記
京城地方法院 寧越出張所

## ○獨損害莫大ならん

英國公報に據ればフランダース地方に於ける獨軍の慘憺たる敗北の結果西部戰場に於ては前月に比し頗る平穩の狀況續き、ヘーグ元帥は其公報に於て獨軍の損害は莫大なりと報告せり（桑港電報）

## ○英國封鎖地帶設置

英國海軍省發表＝英國は所有船舶に對する獨逸の無制限無差別的の機水雷潜航艇戰に鑑み四月十五日を以て左の諸點を連結する線に依りて圍まるゝ一封鎖地帶を設置す

▲第一、北緯五十九度十二分卅秒東經四度四十九分▲第二、北緯五十度二十九分東經三度十分▲第三、北緯五十八度二十□分西經零度三十分▲第四、北緯五十九度二十分西經五十分▲第五、北緯六十度二十分東經三度十分四秒▲第六、北緯六十度零分東經四度五十六分夫れより挪威領海の西端に沿ひて第一の點に至る（倫敦電報）

## ○愛蘭新徴兵令延期

英國政府は愛蘭に對する新徴兵令施行を更に延期する旨發表したり（倫敦電報）

## ○セ軍進撃作戰計畫

セミョノフ軍はハラノリル附近を根據として更に進撃の作戰を計畫せる模樣也（長春特電）

## ○露水兵我兵を射撃す

浦鹽に於ける露國勞働者は一日勞働祭を執行し勞農政府讃美の赤旗を樹てゝお祭り騷ぎを演じたるが時を經るに從ひ漸次狂的となり右勞働者中より同地本願寺前に立ち居りし我が陸戰隊に對し拳銃二發を放ち逃走せる者あるを以て我兵は直ちに追跡して之れを捕へたるに右發砲者は露國水兵なりしを以て我が加藤司令官は直ちに露國團長に對し嚴重なる抗議を提出したり但し我兵には何等損害なし（浦鹽電報）

## ○米兵力增加三議案

米國上院は兵力增加に關する三議案を提出したり第一は大統領に對し直ちに一千五百名の選拔徴兵を召集せしむる權能を附與すること第二は三百萬の軍隊を增加すること第三は米國の軍隊を五百萬に增加せしむべしとのことなり、政府は目下徴兵增加に關する他の提案を研究中なるが此は全然造船計畫の成功如何に依りて決定さるべきものゝ如し（紐育電報）

## ○本野子重態

外相を辭したる本野子爵は其後容態重り殊に此の十日許りは固形物を一切攝らず流動物も吐戻し衰弱加はり杉本、入澤、仁木三博士は交互來診警戒し居れり（東京特電）

## ○ホ長官來往

ホルワット東清鐵道長官は三日朝の急行にて來著直に哈爾賓に向へり（長春特電）

## ○張氏辭意

張懷芝氏は政府に對して辭意を洩し來れり（北京特電）

## ○特命檢閲使

第一特命檢閲使中村大將は矢野目少將以下屬員を隨へ三日午後二時二十分下關著白水要塞司令官等の出迎を受け渡門し同三時三十分小倉へ向ひ柴師團長其他の出迎を受けたる後梅屋旅館に入れり（門司特電）

## ○外交調査會緊急委員會

外交調査會は三日永田町首相官邸に緊急委員會を開けり、此日寺内總裁は健康回復したるを以て來邸し午前十時三十分各員參集劈頭寺内總裁は本野前外相辭職の顛末及び後藤男就任の事情を簡單に報告せる後後藤幹事長は最近の緊急外交案件に關する詳細なる報告を爲し各意見の交換あり午餐を共にせる後ち午後一時散會せり（東京特電）

## ○豆滿江流域變更

豆滿江口は本春流域變更して一帶に淺灘を生じ水深三四尺となり貨物搬船の出入不可能となり貿易上の打撃多大なり（清津特電）

## ◎飯田滿鐵技師

吉會線實査中の飯田滿鐵技師二日會寧より來清せるが同線は五箇年事業にて明年著手の由（清津特電）

## ◎公設市場

### (三)既得權侵害に非ず

公設市場建設に當り其の實行上生ずべき障碍の第一は市場其のものに附隨する障碍にして其の第二は商人又は其の使用人に附隨する障碍なり市場其のものに附隨する障碍に關しては前述の如くなるが商人又は其の使用人に附隨する障碍は市場其のものより生ずる障碍に非ずして市場に

▲利害關係 ある商人側より生ずる障碍なり其の一例として市場商人の營業を奪ふが故に公設市場に反對する説あり、公設市場の建設は現在市場經營者の利益を奪ひ又は之に壓迫を加へ或は現在市場附屬の問屋仲買一部の營業を奪ひ又は之に壓迫を加ふることゝなり此等諸商人側より見れば彼等と公設市場とは利害或は相反する結果となり此の觀の生ずるは遁くべからざる道理と言はざるべからず故に當局者は公設市場を開くに就き市場附屬の

▲問屋仲買 を成るべく現業者の希望者中より選擇し或は其の他適宜の便益を與ふる如き同情ある手段に出づるを可とす然れども彼等が自己の利害が公設市場と反するが故に其の成立に贊同せず却つて不服を唱ふるが如きは大なる不心得と謂ふべし、本來市場規則の發布せられたるは約五年以前大正三年九月の交なりとす乃ち此の時を以つて現在市場の運命は確定せられたるが故に當業者は此の期間に充分の用意を爲すべきものにして今日時機到來して公設市場の議起るに際し是れを以つて

▲市場既得權 の侵害と看做し又は個人の營業を壓迫すると謂ふが如きは理由なき强辯に外ならず、且つ公設市場は日用品就中食料品の物價調節を主眼とし個人市場の模範として他の市場を倣はしむるを念とするものなれば善良なる問屋仲買は公設市場附屬として迎へらるべきものなり、何ぞ公設市場を嫌忌する要あらむや、されば本説の如きは又採るに足らざる也次に御用聞き及び行商の兩者は事實上の障碍にして這は議論に非ず彼等は現代の社會に於ては必要なる機關にして彼等あるが爲に

▲物資の供給 は限なく行はる彼等の恩惠は誠に少からざるものなり然れども一面に於ては彼等あるが爲めに物價は著るしく昂騰し消費者の失ふ所亦大なり即ち彼等の社會經濟上の功罪は相半すと謂ふべし公設市場は市民一般の利用を希望するものなるが故に其の實行は直接彼等が御用聞及び行商の勢力と衝突すべく彼等が繁昌する間は市場の發展は望み難し吾人は、公設市場の止むを得ざる手段として市場附屬の御用聞き及び配達夫を多數に使用して彼等に對抗せしむる要あるを感ず若し此等の使用人が巧に馳せ廻るに於ては

▲價格の點 よりして一般の需要者は勿論彼を捨て之を撰ぶべく公設市場の目的とする市中全般の價格の統一は案外速かに達せらるゝものと信ず又需要者に附隨する障碍に因り公設市場を利用せんと欲すれども種々なる事故ありて之を利用する能はざるもの案外多きことゝあるべければ市場は進んで其の効果を發揮するが爲めに右の使用人を設置するの必要あるを思ふものなり

## ◎製糸工場を朝鮮に設けたい

東亞蠶糸會社長 坂口平兵衛氏談

入京中なりし坂口東亞蠶糸會社々長の一行は三日午前九時五十分南大門發列車にて平壤鎭南浦の視察に向ひ三四日中に再入京の筈なるが坂口氏は曰く、

朝鮮蠶業の近年に於ける發展は中々盛んなもので吾々も實は豫想外です。私は大正四年の共進會開會當時觀覽旁々渡鮮して各地を視察したが當時まではまだ〳〵頗る幼稚で

▲松永長官 より何か蠶絲業を一つ企てぬかと云ふ勸告も受けましたけれど慫うもその氣になれなかつた、爾來三年の間に當局の獎勵の効果と更に朝鮮の氣候風土の蠶業に好適せる事實は相俟つて實に長足の進歩を來してゐる、將來も亦此の勢ひで進んだら朝鮮の蠶業は非常のものとなるであらうと今回各地を視察してゐるのは遠からず弊社の一製絲工場を朝鮮に設立したいためで其の位置の比較研究や色々な調査を試みてゐるのであるが、さていつから工場を設けるかと問はるれば

▲色々の準備 行爲があつて直ぐと云ふ譯には行かぬ、それは假へば鮮女を工女に使役するとしても相當技術を練習させねばならぬ、その敎師はどの道内地の女工を連れて來るより外はないが、それには女工に鮮語から敎へてかゝらねばならぬと云ふ譯で、兎に角一氣呵成と云ふ譯には行きません、尤も製絲機械などは内地で出來るけれど先づ茲二三年もしたら戰局も片付くであらうからすべての事はその後と見た方がよいやうにと思ふ、さりとて戰爭の終結を待つてゐると云ふ譯ではない、唯製糸工場開始の第一歩として蠶種の方面に

▲桑園を設け 又本年から蠶種を大に製造する事となつた、蠶種は行く〳〵は内地に逆移出する位の考へでやる移りです又朝鮮は桑園が少ない桑がなくて蠶を飼ふ人があると云ふやうな風もなきに非ずのやうだから桑園の擴張と云ふ事も刻下の急要事と思ふ、京城日報で米國第三回禁輸品に生絲が入つてゐると云ふ風説の電報を見ました、然し當分は米國にも生絲の在荷がないし日本にも多くはありませぬから大丈夫でせう、唯六七月頃の製絲期に入つたらどうなるか、米國の

▲戰時政策 として生絲の禁輸を斷行しはせぬか、風説は折角日本の蠶絲家を惱ろかすと思ふが、これは避け難い事でせう平和が來ねばその相場は安定を見る事は困難と思はるゝ

## ◎滿鐵營業税問題

朝鮮鐵道は從來官營の關係上京城府は之れに對して營業税を賦課せざりしも滿鐵會社に委任せられたるを以て京城府にては當然營業税を賦課すべきものと做せるに一方會社側にては之れ委任經營に屬するものにして滿洲に於ける鐵道經營とは多少其の趣きを異にするものあるを主張し課税の不當を唱へ總督府に密議方を申出でたりと而して其筋に於ては目下講究中にして假りに滿鐵京城管理局に課税するとするも年額二千餘圓に過ぎざるべしと傳へらる

## ○陸榮廷死去事實

陸榮廷氏の死は疑問とせられ居たるが政府密偵の精査せる處に據れば氏は先月上旬梧州に於て岳州長沙陥落の報を聽きて激怒し精神に異狀を呈し靜養の爲め武鳴に還れるに間も無く吐血して死したるものなりと（北京特電）

## ○北軍再び盛り返す

國務院側の消息に據れば湖南に於て第二旅團の失敗せるは全く施從濱氏が警備を忽にし居れるを南軍より虚を突かれしものにて施從濱氏は長沙に退却し張懷芝氏は一時袁州に退却せるが政府は不取敢應援隊として奉天軍三旅を派遣に決し其一旅は一日既に醴陵を恢復し猶湘潭より第一旅軍を急派したれば遠からず舊狀に復す可し（北京特電）

## ○南北兩軍の對峙

廣東方面の狀況は南軍に有利なるものゝ如く目下北軍の一部と背後附近に於て對峙し居れり雲南軍八千既に韶州、南雄間に到著し尙更に八千名來著する筈なりと（北京特電）

## ◎本田氏學長説

水原勸業模範場長本田幸介博士は客月末來福岡並に東京方面に出張中なるが氏は今回新設の九州帝國大學福岡農科大學長として就任の交渉を受け居れるやにて先般來鮮せし眞野總長とも會談せしものゝ如く其の旅行は右に關するものなるべしとの説あり

## ◎造林用樹苗配付

京畿道にては道内に於て植樹を爲さんとする者に對して樹苗の配付をなすべく五月三日附を以て道令を以て公布せり右に依れば樹苗は有償とし一口一千本以上に非ざれば配付せず但し公益の爲め其他必要と認むる時は此限りにあらずと爲し樹苗の配付を受けんとする者は前年十一月十五日迄に申請書を事業地の所轄府郡廳に提出すべしと

## ◎旅客賃金計算改正

鐵道局に於ては道内乘客賃金の計算方を改正せるが本日朝鮮線より北海道及び讃岐線行旅客運賃に移動を生ぜり

## ◎將校團出發變更

目下入京中の本部職員團體下在鄕將校團一行は豫定の如く各所視察の上四日午後一時六分龍山發列車にて南行する事に變更せり

## ◎部署職員檢閲

三日午前八時より總監部構内廣場に於て國警務部長は道警務部及び本町鍾路昌德宮の各警察署職員を召集し檢閲を施行せり因に當日は古海總長も臨場せり

## ◎福岡師範生入京

福岡師範學校生徒七十二名京城見學の爲め三日夜南大門著列車にて入京五六七日の三日間滯在京仁各所を見學の上七日夜南大門發列車にて退京歸校すべし

## ◎四月木浦貿易

四月中の木浦貿易額は輸移入十八萬二千〇七十二圓輸移出五十六萬三千六百八十六圓合計七十四萬五千七百五十八圓にて先月に比し輸移入に於て二萬八千三百六十四圓を增し輸移出に於て二十萬二千四百七十七圓を減少したるが輸移出の減少は米粒の輸移出減少したるに因る猶ほ一月以降累計輸移入八十六萬六千二百六十圓輸移出三百十九萬〇二百三十圓合計四百〇五萬六千四百九十圓に達したりと

## ◎記者團幹事出迎

過般當地に立寄り内地へ逝きし支那記者團は歸途三日夜北行に付迎迓の爲め京城記者團幹事有馬電通編輯長及び阿部本社長は鳥山迄出迎へたり

## 人 消息

◎弘岡悦三氏（大同生命保險會社長）三日夜入京朝鮮ホテルへ ◎世田谷太郎氏（同上社員）同上 ◎荒井道藏氏（朝鮮水力電氣會社員）同上 ◎桜木宗重氏（伊勢新聞社長）一日平壤に來り黄州地方に滯在中

## □百面鏡□

獨逸國民は大分聯合軍を侮つて時々皮肉な事をやるらしいが之れも其の一とつ▲伯林郵便本局發で『カレー市、アンソルネホテル内、カイゼル陛下』と認めた葉書を出したものがある▲之は獨軍が最う聯合軍を撃退してカレーも獨逸の手に落ちカイゼルが其處へ行つて居ると云ふ聯合軍に對する皮肉である▲處が其葉書には『受取人は前年來所在不明伯林局を取調べよ』と云ふカレー局の附箋が附いて伯林局へ突返された▲之は無論聯合側が獨帝は所在不明と皮肉り返したのである▲伯林局は更らに『コンスタンチノープル市を取調べよ』と附箋して念入りにも土國の首都に送つた▲其の樣な惡戲をして居る内に遂に其葉書が聯合軍の内に迷ひ込んだ▲すると茶目揃の事とて何で打ち棄てやう早速最後の附箋として『本人所在不明配達不能なり急の爲めセントヘレナ島を取調べよ』と記されて突き返されたが未だに澤山な附箋附になつて戰地に迷つて居る相な▲獨帝が此葉書をカレーで受取るかセントヘレナで受取るかは面白い疑問だ▲兎に角獨帝も斯う玩弄物になつてはやり切れまいが之を聞たら嚇怒る事だらう

## ◎蛸島初漁業

三月下旬より四月上旬に亙り靈光、合□… ▲漁場は鞍馬島の西南沖… ▲其の總漁獲高は内地船…一萬六千三百圓鮮船一千八百圓…價低く爲替…

## ◎綿糸受渡紛擾

檢查勵行要求 …主張を…

▽時日 四日(土曜)午後一時 ▽開所 南山本願寺


## 流行 行燈袴

▲特價金拾圓也▲ 送料鮮内十二錢外三十錢

◎純毛にして新流行縞物四種 ◎世間ありふれたる内地製品にあらず 純英國製にして「シワノヨラヌ」不思議の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候

京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話本社三六番 振替金口座三〇〇八番

## 第四期決算公告

貸借對照表

| 資產 勸定科目 | 金額 |
| --- | --- |
| 不動產 | [illegible] |
| 營業什器 | [illegible] |
| 預ケ金 | [illegible] |
| 開墾事業 | [illegible] |
| 西北農場 | [illegible] |
| 金派出所 | [illegible] |
| 分部 | [illegible] |
| 精米品 | [illegible] |
| 現存品 | [illegible] |
| 積送品 | [illegible] |
| 貸付金 | [illegible] |
| 荷爲替手形 | [illegible] |
| 有價證券 | [illegible] |
| 立替金 | [illegible] |
| 得意先 | [illegible] |
| 各店 | [illegible] |
| 振替金 | [illegible] |
| 假拂金 | [illegible] |
| 未收入金 | [illegible] |
| 合計 | 武、壹七〇、武參四・八壹〇 |

| 負債 勸定科目 | 金額 |
| --- | --- |
| 資本金 | 壹、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇 |
| 法定積立金 | [illegible] |
| 特別準備積立金 | [illegible] |
| 借入金 | [illegible] |
| 支拂手形 | [illegible] |
| 積送品荷爲替金 | [illegible] |
| 受託者金 | [illegible] |
| 假受入金 | [illegible] |
| 銀行 | [illegible] |
| 前期繰越金 | [illegible] |
| 當期純益金 | [illegible] |
| 合計 | 武、壹七〇、武參四・八壹〇 |

利益金分配

一金五拾七萬四千百六拾武圓〇七錢也 當期總益金
一金四拾萬參千七百七拾圓五拾九錢也 當期總損金
差引金拾七萬〇參百九拾壹圓四拾八錢也 當期純益金
外ニ金百五拾六圓五拾參錢也 前期繰越金
總計金拾七萬〇五百四拾八圓〇壹錢也
此内
金八千五百拾九圓五拾八錢 法定積立金
金壹萬七千圓 賞與
金拾四萬圓 株主配當金(年一割)
金四萬五千〇武拾八圓四拾參錢 後期繰越金

右之通ニ候也
大正七年四月

不二興業株式會社
專務取締役 藤井寛太郎
取締役 金澤仁兵衛
同 中村清藏
同 高田義丸
同 川上佐太郎
監查役 八木千之助
同 中村富三郎

右調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證ス
追テ監査役全員任期滿了ノ處再選就任セリ

## 質 大塚質店

京城明治町二丁目元醫師 電話一八四九
◎戰慄すべき火災の防備に完全なる倉庫あり ◎多額の融通も出來得る

## 日本唯一 帝國經濟讀書會

第四十二回 會員募集 特色 内外雜誌及見切書籍を會費料よりも低廉で購得る機關 一ケ月二十錢 入會金三十錢 大正三年一月創立 會則照會郵券三錢

本部 横濱市南吉田町九五四 電話八六九番 振替東京三八三五八番

## 支那書畫骨董珍品壹千點 空前の大競賣會

日時 五月三日四日 下見五日 午後一時より競賣
場所 本町二 競賣會社樓上
荷主 松田初太郎
世話人 京城競賣株式會社（電話七八四）

## ◈圖書目錄進呈

往復葉書申込次第 東京日本橋通 春陽堂

## 建築陶器並に衛生工事材料一式

手洗並に洗面器 和洋便器 附屬金物類
直輸入及製作販賣 京都 富永製作所 京城黄金町(電話二六一番)
朝鮮代理店 建築材料 石田商店

## 朝鮮不動產商業登記申請書式心得

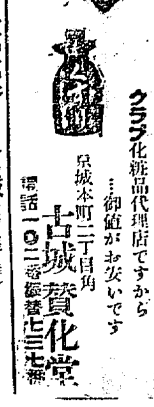
朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編 改定增補第四版 定價一圓 郵税八錢

本書は不動産登記の部には土地調査に關聯せる申請書式の外官公署の登記に關する嘱託書式等併て百武拾餘件並に依る申請書式、印鑑屆、委任狀、證明願、契約書、保證書、建物圖面及書類等を揭げ加之商業登記の部には未成年者…

發行所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 電話長三六番 振替京城二五七三
取次所 京城本町 大阪屋號

## 左官賃金値上廣告

今般物價騰貴に伴ひ組合會議決議の上五月一日より左官賃金左の通り相定候也
一日賃金 金二圓也
大正七年五月一日
京城左官業組合 組合長 林 喜太郎



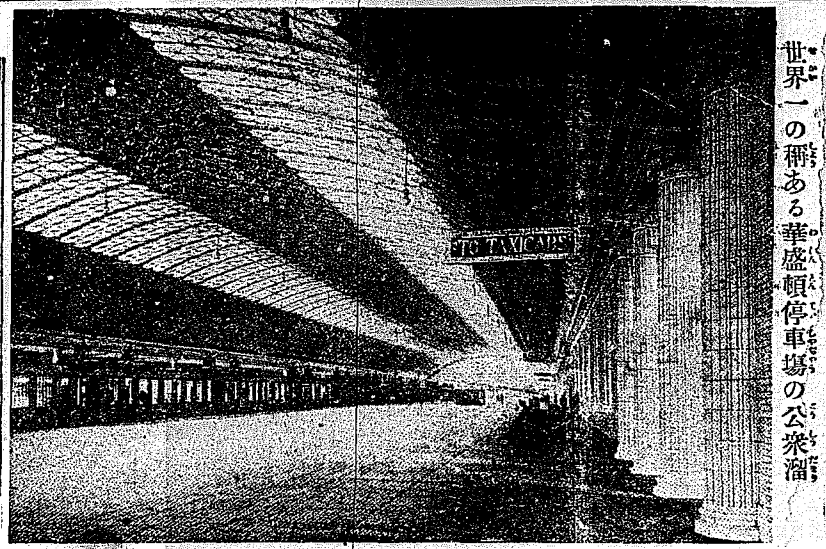
純良の藥品と賣藥が揃つて居ります クラブ化粧品代理店ですから…御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

電話二一七七番 京城(壽座隣) 山田耳鼻咽喉科 福田齒科 醫院

……航程大概一週間乃至二週間なりしが鮮船の來島は二百五十二隻にて前年より四十四隻を增加したり……九十五圓最下二千七百餘尾四十圓にて鮮漁船は最上一萬尾百五十圓最下二千餘尾二十圓見當也而して

▲魚價は大一尾二錢五厘中二錢小一錢にて日本水産會社及び林兼組の出買船出動しつゝあれ……て料理店飲食店等は散財客……め不況を喞ち雜貨商も物價騰貴の影響を蒙り賣行き良好ならずと

……東京米穀取引所杉之森市場は端なくも四月限受渡當日の三十日に……と主張し受方は……(二)五月迄は……無謀なるを以て受渡を拒絶するの趣旨に……に全く使用せられず……品として當月限より之を除外したるが當月限受渡糊數千四百十五……り不賣行なりと(東京)


世界一の稱ある華盛頓停車場の公衆溜

# 中央停車場問題

## ▼送迎者の整理を希望

### それには入場券の料金を上げるか 驛の構内に理髮店食堂の設備

遞信局監理課長 矢野義二郎氏談

南大門停車場の新築に就ては郵便の設備に關する各種の意見なきに非ざるも余の立場よりして之れを公言し得ざる事情あるに就き單に一私人として一、二の希望を述べん停車場の新營に就ては如何に立派なる理想あるも豫算の關係上意の如く設計し能はざるものあるを以て將來の必要に應じ

◆增築又は改築

を爲し得可き樣鐵道事業發展に伴ひ餘地を存せられたきものなり、第二に待合室を擴大にする事は何人も異論なきことなるが一ノ瀨驛長談の如く特に婦人待合室を設くるは其必要少なしと信ず何となれば夫婦親子等を別室に別れしむるは旅客の爲め其の不便尠なからざればなり、第三には南大門停車場の位置にては土地を横に廣くする事は或は困難なる可きを以て

◆三階以上の

建築を爲すのみならず地下室を設け之を備へ休憩所便所其他各種の用に供するは其策を得たるものと思はる又出來得可くんは陸橋を廢して地下道に依り各列車に乘降せしむるを得策なりとす可し、第四には孰れの國にありても我國の如くに停車場の送迎旺なる國は蓋し尠なかる可し

◆旅客の利便の

爲め各種の設備を爲すは可なるも單純なる送迎人の爲めに停車場の雜沓を招くが如きは大いに考慮するの要ある可しされば送迎人を減少する一策として入場券の料金を高め或は入場券販賣の爲め手數省略の方法として入場券の自動販賣機を据ゑ付くるの必要ある可し、第五には旅客の利便の爲めには種々の設備を必要とするなるが其一二の例を述ぶれば驛の

◆構内に理髮店

を設くるも其一なる可し蓋し長途の旅行者は理髮を爲すの機會少なきを以て數十分の停車中或は發車前の數十分を利用して理髮を爲すを得ば頗る利便なる可し其他完全なる洗面室湯呑所等の設備は勿論清潔にして何人も利用し得可き便所(或は有料のもの可)を設け出來得る限り廣き食堂と新聞雜誌及び旅行用の日用品等にして何品にても得らる可き賣店、其他諸般の設備に方面より旅客の利便とする設備に就て考慮の要ある可し、第六には歐米に於ける各種の事例を述ぶれば限りなきを以て世界

◆最大の公衆溜

を有する華盛頓停車場に就て述べんに別圖の如く同停車場は長七百六十呎幅三百四十三呎面積十一萬二百平方呎あり其總費用は三千六百萬圓を要したりとのことにて實に宏壯を極めたるものにして一の屋根下に二萬以上の人を收容するに足る程なりと云ふ又市俄古停車場の如き其費用四千八百萬圓を要し日々二十五萬以上の旅客を出入せしめ其の廣大なる人目を驚かすに足るものあり

## ◉水難救濟會功勞者表彰

東伏見宮依仁親王殿下には帝國水難救濟會總裁の御資格を以て三日午後三時より男爵岩崎小彌太氏以下百八十餘名の同會功勞者を赤坂葵町御本邸に召され有功賞以下を御親授あらせられたり(東京特電)

## ◉周衣に支那服姿

### 都珍しき琿春視察團一行來る

琿春視察團員廿二名引率者四名の一行は三日午後五時半入京した、一行は琿春の有力者許りであるが其内四五名を除いては生れて初めて先祖の墳墓の地を踏むだので見る者聞く者

▽皆懷しく 雄基では古著屋から周衣を買つて支那服の上に著た者もあればわざ〳〵妻君に新調させたとかで紐の附方も袖の寸法も違つてゐる周衣を著て居る者もあつた、何分琿春附近の地以外

▽一歩も外 に出ない人達許りであるから汽車も汽船も見た事がないので汽車を旅館だらうと思つて乘つて居ると動き出したので驚いたとか汽船が動くと聞いて嘘だと言つて爭つたなど〳〵言ふ珍聞奇談は山のやうに御携帶だらうだ朝鮮に入つてから米の飯を喰べ

▽妙な眼附 をしながら栗飯よりも咽喉通りが惡いと言ふ者もあれば羅南で騎兵の追擊戰を觀て其の壯烈に驚き京城にもあんなに強い兵隊が居るかと奇問を發する者もあつて出迎へに出た人達は大分面喰つてゐた西氷庫驛から遙かに

▽漢江鐵橋 を眺めた一行は『彼の大きな橋を見ろ』と互ひに窓から頸を突出して頻りに驚きの眼を瞠つて居たが『彼の橋は併合前に出來たのか併合後か』と問ひ各自に手帳を出して長さや工費や竣功年月日を記入する、なんでも大きな施設を見ると併合前か後かと尋ねて

▽その比較 をして見ねば承知が出來ないのだ相だ、一行中の方斗圓氏曰く『私は琿春から出て來る途中支那官憲の居る土地は車を乘て〳〵山の裏をそつと通つて來ましたさうしないと滿洲人が我々朝鮮人を苦しめるからです……』一行中の大部分は琿春に生れた者許りで

▽從來支那 に歸化はしたが何處の國民であるかさへ解らなかつたが間島問題解決以來朝鮮人である事が併合と共に日本國民になつた事が明瞭自覺されるやうになつたので最近では吾々の自尊心が強くなつて滿洲人と仲間になつて居る事が

▽恥かしく なつて、數年前からは支那人と雜婚せなくなつた』と南大門驛には老人稷や三祭其他朝鮮正樂隊など多數の出迎へがあつた

## ◉西の海隱退

横綱西の海は今夏場所限り隱退する事に正式に決定せり(東京電報)

琿春視察團南大門驛著――正面の支那服を著せるは團長蕉雨吉氏

## ◉警察で叱られる者種々

### 一番多いのは自轉車取締規則違反と賍品と知て買うた古物商

一年間を通じて朝鮮の活動時季と言へば先づ春から秋迄で、結氷期間は嗜眠の姿である、斯うした世の中の出來事を取締つてゐる

◆警察署の門口 から京城の市井を覗いて見るに、毎日毎日召喚を受けたり、願屆の爲などで警察署の受附口は大賑ひである、京城三十萬の人口を抱擁してゐる市街事故を主に取締つてゐるのは本町、鍾路の兩警察署である、其の取締りの中でも刑法に觸れた事件は取り調べて裁判所に送致してゐるが一方警察署長の權限で處分し得る所謂即決に係る微罪が仲〻多い、本町、鍾路の兩署を合して即決處分の件數か一箇月大抵七八百件から一千件以上に達してゐる、其の

◆取締規則の 條文から見れば先頃新に施行された自轉車乘用の取締規則を初め警察犯處罰規則、道路、質屋、古物商、料理屋、飲食店、宿屋、人力車、荷車、建築、水道、森林令、賭博、屠場、理髮業、自動車、度量衡、除穢等に關しては悉く取締の規則があるもので、此規則に違反したものは警察官が告發し告發されたものは警察署に召喚されてキツイお目玉の上に拘留や科料又朝鮮人は笞刑等の

◆即決處分を 受けてゐる、昨今多いのは自轉車取締規則の違反者である、警鈴や制動機の無いもの、制限以外の大物や過量の物を積んでゐるもの、縱令小兒でも二人乘つてゐるもの、夜間無燈火のもの、あつても螢のやうに手を離してゐるもの、股を出して尻に附けてゐるもの、歩道を乘り廻すもの、用もないのに稽古乘りをするものなどで其の他……其の他違反者の中には古物商が多い

◆賍物と知り つゝ買受け規定の帳簿を備へつけぬもの、帳簿はあつても嘘ばかり書いてあるもの、賣り手の身元を確めず何でも買つたものなどは朝鮮人に多い、其の他公園の花を折つたり、畜犬の屆出を怠つたり、無斷で制限外の地域に出過ぎた娼妓、他人の鍵で水道の水を盜んだり、道路に荷車や箱などを並べたり、到る所に放尿したり、荷車に檢印のないもの、夜間燈火を備へなかつたり、賣品である飲食物に蓋を怠つたり、深夜騷いで

◆安眠を妨害 したり、一定の職業も住所もなく浮浪する者、飲食店が客を泊らせたり、山から花樹を掘つて來たり、街路を不潔にしたり、掃除を怠つたり、只是等は僅かに注意さへして居れば何も處罰を受くることはないのだが、尚且處罰されてゐるのは朝鮮人に多く併かも低級の者が大部分を占めてゐるといふことである

## ◈女犬公方

### (上)京城一の愛犬家 五代將軍にも劣らぬ『まあチヤン』廿年可愛がられて居る

### 料理屋で四股玉儲け込み繁昌の結構な身分

富限 後家

昔は五代將軍德川綱吉公、極端な愛犬振りを發揮して犬公方の名を殘したが此綱吉公にも劣らぬ愛犬家が京城に居る、嗅儺は奧野となつて居るけれど本町二丁目は京城銀行前の石齒屋、其處の女主人公金田マキと云ふ婦人が即ち夫である、おマキさんは朝鮮に來る迄は臺灣に居た、御亭主には數年前死別れたがこれより先料理屋で四股玉儲け込み今では新町あたりの金主と仰がれて左團扇、朝から晩迄犬のお敵手さへして居れば好いと云ふ結構な身の上である。

愛犬 マル 吾兒の樣に通り過ぎて殆んど狂熱的である

おマキさんが現在飼つてゐる犬は四匹居るが、おマキさんが之等の犬を可愛がる事は迚も一通りや二通りではない『吾兒のやうに』と云ふ位は生きれ伸の子供を愛する場合などに好く使はれる言葉であるが、おマキさんの犬に對する態度は最う『吾兒のやうに』を通り過ぎて殆んど狂熱的である、正氣の沙汰とは受取れる程である、おマキさんに飼はれる犬こそ分に過ぎた果報者と言はねばならない、四匹の中ドレに勝り劣りはないけれど、其中でも殊におマキさんが偏愛し大切にして居るのはマルと云ふ犬

◈稀い長命 今年で丸廿年おまきさんと半生の苦樂を倶に

おマキさんは『まあチヤン』『まあチヤン』と呼んで居るが、此まあチヤンはおマキさんが臺灣に居る當時貰ひ受けたので今年で恰度二十年になる相な、二十年と云へばおマキさんも未だ若かつた、髮も黑ければ皮膚の色も艶々しい、ふくよかな肉は『青春』に燃ねて花のやうな美しさを見せて居たと思はれる、詰りまあチヤンは其頃からおマキさんを主人としおマキさんの半生を倶に苦樂して來た譯である、犬の壽命は普通七八年十二三年も生れば長命の方であるが此まあチヤンは生きも生きたり二十年、人間ならば百歲にも相當する程稀らしく差向き天杯には漏れぬと云ふ目出度い犬である。(寫眞は其まあチヤン)

## ◉墺皇太子暗殺者死去

墺國皇太子フエルヂナンド親王を暗殺せしガブリエル、プリンチペは肺結核にて死去せり(倫敦電報)

## ◉水兵の墮落 二名行方不明

二日午前十時頃〇〇〇〇〇の西より東に向け關門海峽通過の際部崎燈臺沖合二浬半に於て水兵一名誤つて海中に墜落し行方不明となりしが港務部より直に救助船を派遣し搜索せしめたるも午後二時に至るも遂に發見するに至らざりき(門司特電)

◉漢江神社大祭 龍山漢江神社にては例年例祭を執行せるが四日には朝十時より大祭の式典を擧げ煙火を打揚げ各種の餘興を催す由

◉支那書畫骨董競賣 京城競賣會社にては來る五日同社樓上に於て支那書畫骨董品約一千點の競賣を開始する由なりと


總監部御認可、衛生無害 蠅取散
室內の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死す アヲエル害虫に有効 其他戶外に出す
全鮮一手引請捌元 京城南米倉町交番前 島田藥房
▲各地藥店雜貨店に販賣す ▲特約店及び行商希望の方照會乞ふ

左官建築材料
セメント石灰 硅藻土、火山灰 左官材料一式 各種色土砂 布海苔、苆 各種塗料品 左官用、東京鏝 煉瓦用、東京鏝 建築材料各種 各種耐火煉瓦 煉瓦土管瓦 コールタール、コークス 各種苆類製造
京城電氣株式會社製 瓦斯コークス一手販賣 コールタール特約販賣 九州火山灰特約販賣店
京城旭町一丁目二七 合資會社 戸澤商店 電話九八四番

代書 裁判所前 江原 電話三七二

京日案內

◉店員入用 日鮮人二名但し市内 要保證人 吉野町 友田運送店 43

電話讓り物あり 京城明治町一ノ五九 小川 電話四二七番へ 47

集金兼外交員採用 希望者履歷書携帶午前中本人來談保證人要貳名 長谷川町七六 京城殖産會 50

日鮮人社員二名採用月收三十圓外歩合 履歷書要本人來談 京城吉野町一の二 電二七七二 毛魁新聞支社 39

番外 狂犬病豫防注射 犬猫 京城明治町一丁目 入院隨意 小川家畜醫院 46

◉養鶏養豚 種禽種豚 種卵其他 京城東大門外東廟松林內 犬島農園 電話九八九番 45

恩給年金長期低利即金立替 公債債券現物賣買擔保貸附 京城若草町百六 電話三〇一一番 西村商會 623

轉居 大和町三丁目三番地 田中半四郎 電話一一四二番 41

齋藤孝 京城南大門通三丁目卅二 日本國債債券會社朝鮮總支部 不都合の行爲あり解雇す 40

○はねつき ぎくうちみ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 24

新派悲活劇 魔の娘 大阪附近一帶を背景として演じたる原幸、國松、櫻井一派大活躍
五月四日より 黃金館
新規撮影 舊劇 兒雷也 全四卷 天活會社獨特の撮影の妙技は到底他會社の企て得ざる處
說明 千代田雪嶺氏
ミラの秘密 (全十五篇卅一卷連續大寫眞 米國ホツルトン會社名作) 天活會社臨時派遣
やまと新聞連載 珍無類大怪劇(五卷上)
忍術か、幻術か、お化か、幽靈か、非ず、非ず、宗教と科學の大競爭、まじないと學問の大決戰、怪奇を極むる事正に護る影以上……
惡鬼電光の如き毒氣を吐て世界を横行す
本日より 公開
ナガラクオマタセシマシタ

衛生經濟の親玉 改良麥廉價販賣 專賣特許
仁川海岸町三丁目 不二商業株式會社支店 長電話六五二番

實用經濟向 本場秩父銘仙 直段表
縞物(大明千筋)一反 金八圓前後より十圓位迄
格子(大中小)一反 金九圓五六十錢より十一圓位迄
絣物(大中小柄)一反 金十圓前後より十二三圓位迄
秩父大島(中小柄)一定 金廿八九圓九圓より四十六七圓位迄
○送料朝鮮內十二錢外三十錢
◎御注文の際は男女年齡の別柄向きの御希望(縞とか絣など)及び價格御申越し下され候はゞ必ず適當の柄見計ひ御郵送可申上候
織元特約販賣 京城日報社代理部 京城太平町一丁目 電話長三二六(構內十八番) 振替京城二〇〇番

▽兼題『若葉』三句 ▽會費 金十五錢持參の事

# 花吹雪
大阪　中谷青霞

（二十）

女の童が怜悧しう盃參らせていざと勸めるので、主税之助は無下にも斥けかねて、素より深うは嗜まぬ身の、さらば好き程に注いで呉りやれと盃をあげた。女の童は靜かに銚子執り上げて溢れぬ程に注ぐと、やがて又後に退がつてかしこまる。唐土は眼も離さず、じつと主税之助が手元を眺めて微笑むでゐたが、漸う半ば呑干して下に澄くと、つと身を進めて。

『はて其樣に半ば呑みさして下においてゝ、干手が湧きませうと、お免しなされませ、妾此儘頂きまする……。』と盃を取つてぐいと一息に呑み干して、ほゝと打笑み、杯泉にさつと滌いで主税之助に差す。

『參らぬを百も合點のお身が、何として其樣に……。』

『いゑ、御介抱がしたさでござりまする、さゝ今一つ。』唐土は自ら銚子を執る。

『さらば最うこれ迄にして……。』と詮方なげに再び盃をあげる主税之助、唐土はそこと注いで銚子を置く。

『してそのお身が物語とやら、興がる譯ではござらぬが、さぞ哀れ深からうも聞かれやう、膝とも談合とは古き例言、役には立たずとも又何彼の便りともならうも知れぬこと、仔細なくばお語りやれ。』と云ふ主税之助は盃を置て、じつと唐土の面を見る、唐土は遉がに何とやら面恥氣に。

『ほゝゝ斯樣に押附けて申すも如何でござりませうなれど、强いてとも思ふを、お身樣から聞いて下されうとあるを何と否が申されませう、お座興ともあれ妾は滿足、申して憂さを晴さうまでの徒らとお聞きなされませ。』と唐土はそつと座を進める。

『なんの徒ら事などゝは思ひも寄らず、只眞實に聞かうまで、してお身は何處の生れ、何うして斯樣なお身になりやれたか。』

『申すも何とやら恥かしい顔でござりますれど、それを語るは妾が今の心の遣る瀬なさを、やがては聞いて頂かうまでの苦しい策、さゝ今一つお盃を下さりませ。』と唐土は左右なうも云ひ出さず、顔を赤めて、尚酒に勢ひを借らうとする。

『さらば是おまさう。』と主税之助、盃を半ば杯泉に滌してつと差す、女の童が走り出て酌するを唐土受けて、浪々と注がせ遉がに呑干し兼ねて再び下に澄て『主税之助樣。』と呼びかくる、面は早くも紅溢れて艶に輝くを、主税之助も早陶然たる眼に打見遣つて、

『何事のおはするか。』

『聞いて下されませうか。』

『包まずお語りやれ。』

『如何やう妾が心打明けましても。』

『おゝさ、何なりと聞かうまで。』

『ならば何うぞお聞きなされて下さりませ。』唐土は嬉しげに愈々膝を進めた。

## ◆今日此頃のお化粧
△衣裳との釣合

鶸色にほぐれそめた若葉の蔭を美くしい洋傘の行交ふ頃となりました。これからは軽い袷にスッキリしたお化粧の何んなにか引き立つて見ゆることでせう。けれども、お化粧とさへ云へばクリームを塗つて、

◇白粉を　つけて紅をさして、それでよいと思つてゐるのは大間違ひであります。お化粧の眞意は顔ばかりでなく、衣服や襟の配色を上手にしなければなりません。如何に若い色の白い婦人が、唐棧縞か何かで頬のあたりをポーッと赤く紅をさしたりしてゐますと、如何にも艶に見ゆるものです。又文金の高髷に白襟紋附は一種の

◇威嚴を　感じさせます、かうした事を小さく分類して見ますと例へば茲に四十位の年増の婦人があると假定いたしまして、もしこの婦人が普通のお化粧をして、青い色か褐色かゝつた襟をかけたといたしましたら何うでせう。それは到底美しくは見られません。

◇自然に　失はれて來ます、どんなに美しい人でも頬の肉が憔けて水々しい處がもう四十になりますと、それも今日の生理的美容術によつて憔けたところへ肉をつけてゐるのなら格別、さした眼のない人が青色や褐色がゝつた襟を用ひた場合、その色の反對で尚更ら肉の落ちた見惡い顔になつて見ゆるものです、故に何うしてもかうした色を用ひなくてはならない場合でしたら頬に

◇砥の粉　の赤味を帯びた白粉をつけるとよろしゆうございます。もし初産をした若い夫人なら襟の模様は出來るだけイカツイ直線風のものが、非常に美しく映るものです、模様の位置にも注意しなくてはなりませんが、一般に襟の模様の刺繍などは、その模様の中心を頬と鼻との眞下にもつて來るやうにしないと顔が引き立つて見えません（美容史談）

今日のおやつはモナかときめて　電話かけましよ木村屋へ（京城明治町　電二八七〇）

書画用　絖画絹　京染呉服商　たまや出張店　京城永樂町二　電話一九六五

## 朝日俳壇
春季雜詠

樹に錆す張坂に高き春陽哉　笛木
蜆堀るや鋤簾に光る砂の色　同
蜆汁に天井低き客舎かな　同
澁ぎ人に泡白く浮き連翹花　同
連翹や庭はすかいに干せる衣　同
森の空に閃かす鳥や春の雲　同
小川や棹の飛沫に輝く陽　同
鞦韆の唯搖れて風光る朝　鸚村
梨花の雨に讀書髪なる留守居哉　同
夜の街に枝垂れて柳ヒソとあり　同
巣鳥も啼かざる朝か小雨哉　同
菜の花の蒸くる所や海光る　露雅
野遊の暖に海の輝ける　同
春雨の晴れゆく潮や鳴く鷗　同
琴の爪を忘れ歸んぬ春の人　同
蒼穹に翠光らす燕かな　小狸
町が見ゆ丘の學校や桃の花　同
酒荷積まれし牛の往く桃の暖哉　同
長閑や眞晝に鶏の鳴く山家　てい一
牛ばかり渡せる舟や水麗ら　同
曉雨來て草芳しき汀かな　誰城
戸明くれば旭眩ゆし連翹花　六轉
木蓮の仄かに匂ふ月夜哉　逆左
カナリアの籠洗ふ干す春日哉　女笋
春の日や圓座の芝に帆影過ぐ　芸窓
簷ふ土の鈍き光りや春の影　狐跡
大山に沈む夕日や鳴く雲雀　小嵐山

### 京日俳壇句集　發刊に就きて

一日報俳壇を再興して將に一年に垂んとするを以て現在の境地に停滯せず諸君と共に一層努力の上新詩境を開かんとするの際、本欄寄稿家諸君より『京日俳壇句集』發刊の勸誘あり、之れを以て此の一轉機を畫する記念とするは謂なき企圖にもあらずと認め、諸君の希望數にして若し印刷に附し得る數量に達せば本壇再興以來のものに本春季の句を加へ、本年七八月頃『京日俳壇句集』を發刊せんとす　希くは此の擧を賛し左記に依り必要部數等豫め下名迄至急通報せられん事を（京城府桜井町先生）

□印刷費に要す經費は未定なるも一冊金五十錢以内の見込愈發刊の事に確定せば更に通知す
□希望の向きは『必要部數』『住所姓名』『雅號』前に本句集は一面本俳壇の稿家諸君の爲めに『金蘭誼』なも兼ねしめたき希望につき職業、原籍地等なし附記し置かれん事を望む
□從來本俳壇に投句されざりし方と雖も此際投句『句數制限なし』せられなば努めて『本句集』に採録すべし

### 春雷吟
青冠

鴨の朝まだき大樹月のありなし
花公林中の金魚捕へ居りく
畑の路を拂り逃ぐ風や春の宵
興蝶樽地な這ふ雨の花菜畑
鳥の販荷乾ける入るゝ春夕
曉ケ星の明滅若葉雨さ雨げる

水の鳥翠朧樹に籠る田鷄かな
夜雨され北明り藤に風見ゆる
草鳥の飛びやう見居り袋のあり
汐より明けし道鮮やか飛ぶ燕
戸樋ホを拂り浴ぶる　花茶花錢
雨水を鳳飲み居り　春の惑
月岩葉猿　居ぬ鎮　冷けてあり
瓜青

## 新刊紹介（到着順）

▲武侠世界（惡性思想征伐號）甘くやらう主義を排す（針重主張）誠忠無比の大尉と從卒（江川大尉）名士の兄弟（下長根澄）新發明の甲冑で法廷を荒廻る（芳山）大東京も一夜にして焦土と化せん（長岡中將）青年男女性欲問題の解決（十七名家）倫敦奇談秘密室（小牙道香）の外彈丸部兵衛を宜て十萬圓儲けた水夫、苦しき試驗を終へて（五名家）貴重なる血と肉の犠牲（本間武彦）武侠小說明馬國（天風）羅貨披露新題貨問題あり（二十六錢、東京上野公園櫻木町其社）

▲日本印刷界（一〇二號）印刷所の營業部と工場を統一する組織印刷業者は如何に覺悟すべき、インキとローラーの沿革、紙の試驗法、余は斷じて活版業に失敗せり、東洋に於ける印刷術、本邦新聞紙の起源と其變遷其他（二十七錢、大阪東區南本町二其社）
▲中央文學（五月號）十八錢、東京日本橋區通四の五春陽堂
▲文章倶樂部（五月擴大號）現代文章の研究雜誌十八錢、牛込矢來町新潮社
▲帝國青年（五月號）十二錢、東京麴町區内幸町一の四同發行所
▲貿易要覽　非賣品　仁川稅關
▲新東洋（三の五）五十錢、東京麻布市兵衛町二の三其社
▲東洋時報（二三五）五十錢東京麴町區内山下町一の一東洋協會

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す事を書た詳い本を無代進呈す
名古屋市南小川町一　救生舘

李王職御用　特製　牛乳
ニウソ　石鹸洗粉
主婦　恩賜　肥塚正太
京城蓬萊町四丁目　電話　東亞牧場

最新刊
飯島魁編　定價拾武圓　動物學提要
帝名著者
歐史の研究各部　黑板　美五、五〇
新春　島　蘭花　一、六〇
人の世　關　天民　九〇
代表的日蓮主義　講話　宮三　一、三〇
地理教育の方針及　西田與四郎　八五
大英遊記　半球周遊　合本縮刷　楚人冠　一、三〇
カイゼルの胯が　縮刷　樋口　陽　七〇
日本征服爆彈・の日本帝國　樋口麗陽　一、五〇
背嚢されてから　松宮住夫譯　一、〇〇
最新　朝鮮地理　藤田櫻岳著　定價武圓
平　徳　珍　訂　羽鳥　恩迎　七〇
離に出る　姓名の判斷　海老名一、二〇
急がば廻れ　江　　一、二〇
トルストイ書簡集　石田三治譯　六〇
世界童話集東洋の巻　岡本　一、三〇
中央佛教特別號　現代佛教研究　定價九十五錢
大阪屋號書店　京城本町電六八四　二〇八六振京城二五七三

百円進呈
りんびょう　ばいどく（藥合調）
全科十二週代金引換送料共一圓廿錢▼特製參圓武拾錢▼特製武圓▼普通一圓廿錢
帝國醫科大學病院等に賞用せらる
▲あらゆる治療をなすも効無き患者諸君は速に今一度本剤試用あれ
▲にせ物　東京・大阪・京城・釜山・仁川・平壤・其他
鑑製　大阪有田
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會本部
長電話二五六七◎振替京城四六七
支店　京城黄金町三丁目電車通◎元山本町　龍山練兵場前停留場◎平壤櫻町一三　釜山大廳町二丁目◎仁川宮町二丁目

ひぜん　ヨクキク！　芳香ひぜん水
大阪市西區新町通二丁目　本舗　田知本和三郎製
各藥店に販賣す　振替大阪二八八番

安蘇善四郎著　朝鮮鑛石探鑛法　發行所　ウツボヤ書籍店
▲これ一冊に探鑛法、山發見法、鑛石分析鑑定法、各道地質鑛脈、鑛物に關する一切に渉り初學者にも一讀了解し得る樣に述せり當業者諸氏の是非講讀せらる可き参考書也と信ず
四六版二百五十頁　壹圓貳拾錢　並製壹圓四拾錢　送料六錢

朝鮮總督府編　朝鮮藥用植物調査書　發行所　ウツボヤ書籍店
▲本書の公にせらるゝや學校、病院、醫生、藥店植物栽培者より大好評を以て迎へらる
▲漢方藥料植物には原名の外鮮名、効用、産地には附錄價格表を付す朝鮮に於ける唯一の藥用植物書なり
四六版洋装　定價九拾錢　送料六錢

櫻岳　藤田針太著
最新　朝鮮地理　最新刊　總クロース金文字入八百五十頁　定價二圓　郵税鮮内十二錢　外三十錢
一、本書は道府郡行政區域の改正後面里洞新設に依る最新の地理書にして志賀重昂先生巻頭序文の一節に曰く此の書は實に帝國希覯の朝鮮地理書なり』と以て其の一般を窺ふに足るべし
一、本書は第一編全道第二編各道第三編各地に分類し沿革位置境界、地勢、氣候、産物、人種族制、民籍、戸口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政財政經濟、産業、交通は勿論著名山河、島嶼、港灣、官公署、軍隊、會社、組合、銀行、神社、佛閣、寺院、町名、名所、舊蹟、古戰場、温泉等を詳記し加ふるに農商工業及金融商業に關する實用的各種の參考表を以てせり
一、本書は附録としてアイウエオ別道府郡島面索引及内地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別日本國殖民地間の連絡を知らしめ母子國間連續旅行者の便を計れり
一、本書は内鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の執務上必要なるは勿論事業經營上の最良指導者たり旅行者の最新案内者なり
一、本書は各種學校各官衙、各銀行、各會社に最も關係多き著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各官衙各銀行會社及各種學校講習會の良參考書なり
一、本書地名には朝鮮諺文を附し、日本假名を以て内鮮音讀を附加し國語朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り内鮮關係の密接なるを明ならしめたり
一、本書の著者は正確周到にして序次懇切を極め簡潔に多趣ならしめ特に大方の期待渴望に負かさらんことを期せり誠に空前の好著なりとす朝鮮の事情を研究し半島の實情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して座右に備へられんことを望む朝鮮地理の蘊奥は本書に依りて腦裏に蓄積せられむ
一、本書を各所に配在し讀者をして便ならしむ
發行所　京城日報社代理部　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番

品質第一　誠實第一　賣行第一
キッコーリウ　最上醤油
醸造元　仁川港　日本醤油株式會社
京城出張所　京城大平通二丁目電話二四五番

最新流行　時間正確
新荷着　純ニッケル側十二形アンクル腕巻　堅牢無比　金拾壹圓
▲瑞西國製　七寶裝飾入　特價金七圓
腕専用にして貴婦人用男子用に適し最も優美なる金銀側懐中時計最新流行品取揃居候
京城本町一丁目　京日代理部　振替京城三〇〇番

▲金泉乃城間自動車著發時刻　下り一番二番　上り一番二番三番
金泉發・乃城着時刻表
▲小荷物運搬仕候　織居自動車部　金泉支部　金泉電話四八番

## 大阪商船株式會社汽船出帆廣告

仁川出帆
◎神戸、大阪行
△油頭丸　五月四日　後五時出
△日清丸　五月九日　後五時出
△日吉丸　五月卅一日　五時出
△◎群山、神戸、大阪行
南部丸　月　日　後五時出
元山出帆
◎西湖津、新浦、城津、清津行
宮島丸　五月四日　後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸　五月十二日　後九時出
大連出帆
◎上海、基隆、打狗行
湖北丸　五月十二日　前六時出
須摩丸　五月四日　前六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回
南米行　一年四回
濠洲行　毎月一回
北米行　毎月二回
孟買行　毎月二回
南洋行　毎月一回
御注意
◎外航船ノ所要航路ハ近海航路ヲ除ク外ハ満洲及朝鮮諸港ヨリ鐵道ト聯絡ノ上運賃通シ切符ヲ發賣ス
◎乘船御希望ノ方ハ最寄ノ支店又ハ出張所ヘ御照會ヲ乞フ
×印ハ客扱ノ外船客取扱ハズ
大阪商船株式會社仁川支店　電話二番・三五〇番
京城切符發賣所　京城切符發賣所（朝鮮郵船內）電話七〇八番
仁川切符發賣所　仁川旅館部　電話一六一番
京城　京城本町二丁目　代理店　電話四二番
京城　慶田組　仁川港町一丁目　電話七二番

## 釜山出帆廣告
◎門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　五月　日　後五時出
立神丸　月　日　後五時出
◎元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸　月　日　後四時出
立神丸　月　日　後十時出
◎佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日）午後十時出帆
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三翠丸　四月　日後六時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行
第三翠平丸　四月　日後六時出
本船取扱店　釜山港　大池回漕部

## 日本郵船出帆
◎大連、天津行
相模丸　五月二十日　正午出
三河丸　五月十日
高砂丸　五月三十日
仁川港　電話十一番　堀回漕部

## 尼崎汽船出帆
釜山、木浦、仁川、下關、神戸、大阪行
神代丸　五月九日　後四時出
秀吉丸　五月七日　後四時出
君代丸　五月四日　後四時出
大有丸　五月　日　後四時出
仁川港　電話五十九番　高杉回漕部

## 共同汽船出帆
大連行（關東都督府命令航路）
共同丸　五月十日　午前十時出帆
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城代理店　河村運送店

## 朝鮮郵船出帆
◎敦賀行
平壤丸　五月六日　元山發
◎浦汐行
平安丸　五月十四日　釜山發
雄基行
忠清丸　五月十八日　釜山發
×慶州丸　五月十五日　元山發
元山雄基線
鏡城丸　五月八日　元山發
大阪行
山陽丸　五月十日　元山發
◎關門行
×慶州丸　五月十二日　釜山發
成鏡丸　五月九日　元山發
金剛山遊覧便
丸　月　日　元山發
鬱陵島行
孟德丸　五月八日　釜山發
釜山浦項線
昌平丸　五月五日　釜山發
濟州島行
江陵丸、襄陽丸毎日釜山、浦項發
濟州島行　木浦發
東廻慶興丸　五月六日　木浦發
西廻公州丸　五月九日
釜山麗水線
州丸、巨濟丸、統營丸　毎日
木浦麗水線
順天丸　五月五日　木浦發
多島海行
公州丸　五月十四日　木浦發
木浦行
慶發丸　五月四日　仁川發
海州行
錦江丸南陽丸毎日一回仁川海州發
鎭南浦行
全州丸　五月八日　仁川發
青島行
江原丸　五月八日　仁川發
鎭南浦大連直行線
宗信丸　五月十日　鎭南浦發
本社　京城南大門通（電話一九五二）
釜山港　釜山支店
元山港　元山出張所
仁川港代理店　堀回漕部
木浦港代理店　山野回漕部
京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店（電話二一〇七）

生命保險成績　未曾有の好景氣
本社は金額一千圓に對し其收入保險料は平均四……